

9 教育費

1 教育総務費 2 事務局費

[担当：学務給食課] P.355

2001 スクールバス運行に要する経費 12,310,380円 (3,214,080円)

[国・県 583,176円 一財 11,727,204円]

* 特財内訳

[国補：へき地児童生徒援助費等補助金 328,000円]

[県補：市立小学校適正規模化支援事業費補助金 255,176円]

○ 目的

遠距離通学となる児童の安全な通学手段を確保するため、スクールバスを運行する。

○ 内容

- ・小文間地区スクールバス業務委託料 7,128,000円
- ・市之代・貝塚地区スクールバス業務委託料 5,182,380円

○ 効果

対象児童に対して、登下校時の安全な通学手段が確保できた。

[担当：学務給食課] P.355

2201 通学送迎に要する経費 646,272円 (646,272円)

[一財 646,272円]

○ 目的

遠距離通学となる大留第1地区(小貝川左岸)の児童の安全な通学手段を確保する。

○ 内容

登下校時に、桜が丘小と対象児童の自宅の間をタクシーで送迎した。

対象者 大留第1地区の児童 2年生:1人

○ 効果

対象児童に対して、登下校時の安全な通学手段が確保できた。

[担当：学務給食課] P.355

2301 教育情報機器整備に要する経費 78,054,291円 (71,923,966円)

[国・県 1,991,000円 一財 76,063,291円]

* 特財内訳

[国補：地域住民生活等緊急支援交付金 1,991,000円]

○ 目的

高度情報化社会に対応した校務処理を行うため、教育情報ネットワークを構築し、教育委員会と小中学校の事務の効率化を図る。

○ 内容

- ・小中学校全校の校務事務の情報を教育委員会と学校が共有する。
 - ・市内全小中学校において、自宅より校務が行えるシステムの更新を実施した。
- 主な事業費内訳
- ・教職員情報ネットワーク使用料 4,341,600円

- ・教職員用パソコン使用料 19,530,000 円
- ・ICT 支援スタッフ派遣業務委託料 7,177,680 円

○ 効果

- ・教育委員会と学校が情報を共有することで、事務の効率化が図られた。
- ・市内全小中学校において、自宅より校務が行えるシステムの更新を行ったことで更なる教職員の事務の効率化が図られた。
- ・市内全小中学校において ICT を活用した教育や校務が円滑に実施できるようになった。

1 教育総務費 3 育英事業費

[担当：教育総務課] P. 357

2101 奨学生貸付金 3,480,000 円 (2,760,000 円)

[その他 3,480,000 円]

* 特財内訳

[諸収入：奨学金貸付金元利収入 3,480,000 円]

○ 目的

経済的に修学が困難な大学生・短大生に奨学金を貸し付け、有為な人材を育成する。

○ 内容

貸付額 国公立大学:月額 30,000 円、私立大学:月額 40,000 円

貸付者数

種 別	27 年度 (内 新規貸付)	26 年度 (内 新規貸付)	25 年度 (内 新規貸付)
国公立大学	3 名 (2)	1 名 (1)	0 名
私立大学	5 名 (2)	5 名 (2)	6 名 (2)
合 計	8 名 (4)	6 名 (3)	6 名 (2)

○ 効果

経済的負担の軽減を行い、有為な人材の育成に寄与することができた。

1 教育総務費 4 教育研究指導費

[担当：指導課] P. 359

0501 教育振興に要する経費 66,115,457 円 (72,455,461 円)

[一財 66,115,457 円]

○ 目的

国際化、情報化、科学技術の飛躍的な発展の中で、変化の激しい社会に対応できる児童生徒の育成が必要である。基礎的・基本的な内容を確実に身につけさせ、自ら学び自ら考える力などの「生きる力」をはぐくむことができるよう、教育の充実を図る。

そこで、英語指導助手(ALT)との連携による授業、デジタル教科書を活用しての授業、学習ボランティアや心の先生を活用しての授業などの実践を行う。

○ 内容

- ・社会科副読本「わたしたちの茨城県」購入(小学4年生) 552,960 円
- ・社会科地図「わたしたちの取手市地図」印刷(小学3年生) 301,320 円
- ・社会科地図「取手市全図」印刷(中学1年生) 226,800 円

- ・ 小学校教師用教科書(下)・指導書購入 3,309,386 円
- ・ デジタル教科書購入(小学校国語) 5,034,960 円
- ・ 平成 28 年度使用中学校教師用教科書・指導書購入 11,242,605 円
- ・ 英語指導助手業務委託料 43,362,000 円
 英語指導助手(ALT)11人(中学校各校1人・小学校3校に1人配置)を民間専門業者に委託し、英語教育の充実に努めた。また、英語指導助手と児童生徒との交流により国際教育の充実に努めた。
- ・ デジタル教科書使用料 中学校英語・小学校国語(白山西小分) 466,560 円
- ・ 学習ボランティア謝礼 233,000 円
- ・ 「心の授業」「心の先生」講師謝礼 223,000 円
- ・ 学校問題解決サポートチーム員謝礼 25,200 円
- ・ その他(需用費・負担金等) 1,137,666 円

○ 効果

学習指導要領に沿って、各教科等のねらいを達成する授業展開のため、教材等の充実が図られた。デジタル教科書を活用することで、視覚的、聴覚的に理解しやすい提示が可能であり、児童生徒の学習意欲を高めることができた。また、ALTの活用により、小学校の外国語活動、中学校の英語教育及び国際教育の充実が図られた。

[担当：指導課] P. 359

1001 特別支援教育に要する経費 2,935,490 円 (2,756,211 円)

[一財 2,935,490 円]

○ 目的

障害のある幼児児童生徒を支援し、保護者や教職員からの相談に応じるとともに、市内小中学校の特別支援教育の充実に努める。

○ 内容

(1) 特別支援教育相談員等の配置

幼児児童生徒の就学や適応に関する調査及び教職員や保護者に対する相談活動を行う。

- ・ 相談件数

区 分	H27 年度(179 件)	H26 年度(128 件)
未就学児に関して	83 件	80 件
在学児童生徒に関して	81 件	40 件
教職員から	15 件	8 件

(2) 教育支援委員会の実施

障害のある幼児児童生徒の適切な就学のため、医師・特別支援教育担当者等で構成する委員会において就学について協議・判定する。

- ・ 判定人数

区 分	H27 年度(148 人)	H26 年度(143 人)
新学齢児	51 人	67 人
在学児童生徒	97 人	76 人

(3) 特別支援教育サポート事業の実施

地域における特別支援教育相談体制を充実させるとともに、小中学校等における

特別支援教育校内体制の整備と活用に関する支援を行う。

教職員や保護者向けの相談活動「ほのぼの相談会」や教職員向けの講演会などを企画・運営する。

- ・「ほのぼの相談会」相談件数

区 分	H27 年度(5 件)	H26 年度(20 件)
保 護 者	5 件	15 件
教 職 員	0 件	5 件

- ・講演会への参加者

区 分	H27 年度	H26 年度
特別支援教育講演会	262 人	259 人

○ 効果

障害のある幼児等の課題について早期に発見できたことにより、幼稚園・保育所と小中学校が連携して適切な支援を行うことができた。

市内小中学校における特別支援教育校内体制を充実させることができた。

【担当：指導課】 P. 361

2301 適応指導事業に要する経費 31,875,365 円 (25,767,128 円)

[一財 31,875,365 円]

○ 目的

不登校児童生徒等に対応するため学校や関係機関との連携のもとに、適切な援助指導を行う。不登校等の対応には、その状況に応じた援助指導が必要であり、適応指導教室を開設することにより、学習面、人間関係の面での指導支援を継続的に行う。

○ 内容

相談員と指導主事が、適応指導教室や学校において、教科の指導、集団での活動、個別の相談業務等を行った。これらを通して、児童生徒が自立しコミュニケーション力をつけ、学校生活に適応できるよう継続的に支援した。併せて、保護者との面談も行った。

旧教育相談センター分館(のびのびプラザ)は平成 24 年度末で閉室後未使用で防犯と耐震の面で課題があり、安全性を確保するため解体工事を行った。

- ・指導主事派遣負担金等 9,683,798 円
- ・教育相談員報酬(7 人分) 8,568,000 円
- ・子どもと親の相談員謝礼(11 人分) 3,573,000 円
- ・教育相談センター及び適応指導教室案内カード作成 129,600 円
- ・旧教育相談センター分館建物撤去工事・測量業務委託 7,225,200 円
- ・教育相談センター維持管理経費等 2,695,767 円

○ 効果

教育相談センターにおける相談業務について、指導主事が専門的助言を行うことにより相談業務の充実が図られた。また、教育相談センターの不登校児童生徒のための適応指導教室「ひまわり」では、教育相談員がきめ細かな指導支援を行い、平成 27 年度は小中学生計 12 人の通室者のうち、10 人が学校生活に復帰することができた。また、学校への復帰ができなかった児童生徒も適応指導教室に通室することにより、コミュニケーション力を育成することができた。

年 度	通室者数	復帰数	復帰率
H27	12 人	10 人	83.3%
H26	7 人	7 人	100%

子どもと親の相談員を全小中学校に配置し、児童生徒及び保護者のための相談活動を充実させることができた。

[担当：指導課] P. 361

3901 移動学習バス委託事業に要する経費 3,094,200 円 (2,106,000 円)

[一財 3,094,200 円]

○ 目的

児童生徒が校外で直接見聞する体験学習を充実させるため、移動に必要なバスを運行して、校外での学習活動を支援する。

○ 内容

民間のバス会社に委託し、主に小学校 3・4 年生での校外学習に活用した。中学校では職場体験学習やボランティア活動のほか、取手一中の水泳学習において旧取手一中のプールへの生徒の移動に活用した。

行き先 小学校:常総環境センター、利根川浄水場、市内スーパー・工場等

中学校:市内各事業所、福祉施設、旧取手一中プール

年度	区分	利用校数	利用回数	児童生徒数	バス台数
H27	小学校	15 校	30 回	1,672 人	43 台
	中学校	1 校	3 回	146 人	3 台
	取手一中水泳	1 校	13 回	1,026 人	13 台
H26	小学校	18 校	36 回	1,660 人	52 台
	中学校	2 校	4 回	282 人	6 台
	取手一中水泳	1 校	7 回	871 人	18 台

○ 効果

学習内容に関連する公共施設や工場等を直接訪れることにより、児童生徒の学習への関心・意欲を高めることができ、校外での学習の充実が図られた。

[担当：指導課] P. 363

4201 日本語指導員に要する経費 1,745,433 円 (2,155,757 円)

[一財 1,745,433 円]

○ 目的

日本語指導を必要とする帰国児童生徒及び外国人児童生徒への日本語の指導を行い、学校生活を支援する。

○ 内容

- (1) 学校での日本語指導への協力
- (2) 教科書・指導資料等の翻訳
- (3) 学校での保護者との通訳等

○ 効果

日本の学校生活への適応が図られた。

年度	指導員数	支援対象児童生徒の言語の内訳
H27	7人	英語3人 中国語1人 ポルトガル語2人 スペイン語1人
H26	8人	英語5人 中国語2人 ポルトガル語1人

[担当：指導課] P. 363

4501 学力向上推進事業に要する経費 3,634,131円(4,041,753円)

[国・県 875,000円 一財 2,759,131円]

* 特財内訳

[県委：学びの広場サポートプラン委託金 875,000円]

○ 目的

児童生徒に基礎的・基本的な学習内容の定着を図り、確かな学力を育成する。また、指導体制や指導方法等の研修を深め、教員の資質向上を図る。

○ 内容

7～8月 夏休み算数スクール講師謝礼 472,000円

(市立全小学校6学年に学習支援員を各校1人ずつ5日間配置)

学びの広場サポートプラン講師謝礼(算数) 813,000円

(市立全小学校4・5年に学習支援員を各学級1人ずつ5日間配置)

学びの広場サポートプラン講師謝礼(数学) 18,000円

(希望した市立中学校1校の1・2年に学習支援員を2人配置)

1月20日 授業力向上研修会講師謝礼 30,000円

1～2月 理科特別授業講師謝礼等(小学校9回分) 117,194円

学力向上に関する特色ある取組経費 各小中学校消耗品費 2,100,000円

研修用図書等消耗品費 83,937円

○ 効果

研修会や講演会を通して教職員の資質向上を図った。研修内容が即授業実践につながるなど、実効性の高い研修となり、事業の成果向上が見られた。

さらに、小学生4年生以上を対象に長期休業期間中、特に算数における基礎学力の定着を図ることで、児童の学ぶ意欲の向上を図り確かな学力を育成することができた。中学校では平成27年度から始まり、中学1・2年生を対象に、長期休業中や朝自習、定期テスト前の放課後等に実施した。一人ひとりのペースに合わせて数学の基礎問題に取り組むことを通して、基礎学力の定着を図ることができた。サポーターの活用については、初年度だったため活用した学校は1校だけだったが、個に応じたきめ細かい支援を行うことができた。

また、理科では小学校に理科特別授業講師を派遣し、理科への興味関心を高めるとともに小学校理科教育の一層の活性化と充実を図ることができた。

[担当：指導課] P. 363

4801 小中連携(一貫)教育推進事業に要する経費 1,001,052円(1,212,162円)

[一財 1,001,052円]

○ 目的

中学校生活への適応や学力の向上などをねらった小中連携(一貫)教育の取組をモデル学区の研究成果を踏まえて、市内の各中学校区において推進する。

○ 内容

小中連携(一貫)教育を推進するための視点を明らかにし、それを踏まえた具体的施策を各中学校区において実践する。

※小中連携(一貫)教育推進のための視点

- ① 教科担任制など、中学校生活への適応
- ② 小中教師それぞれの特長を生かした教師間交流
- ③ 児童生徒間の交流
- ④ 生徒指導の一貫性や学校生活への適応
- ⑤ 教育課程の連続性や教育内容の一貫性
- ⑥ 学力向上

事業の取組を充実させるため、9年間を貫くキャリア教育を支援する地域人材の活用や、児童生徒の交流活動に係る移動用バスの運行などの環境整備を行う。

・講師謝礼	490,000 円
・児童生徒の交流活動移動用バス代・楽器運搬費	484,830 円
・消耗品費	26,222 円

○ 効果

中学校生活への適応や一貫性のある生徒指導などについて、全中学校区で実践が深まった。小中間の連携が図られ、併せて、小中学校の教師間交流による研修を充実させることができた。また、バスや楽器運送用トラックを活用して児童生徒の交流活動を充実させた。小中学校が、連携した同一時間帯の避難訓練、小中合同挨拶運動、小中学生が互いの学校を訪問するなどの交流が充実した。

さらに、地域人材を活用したキャリア教育についての講演を各校で行い、児童生徒に将来への視野を広げさせることができた。

[担当：指導課] P. 363

5001 公共プールを活用した中学校水泳学習推進事業に要する経費

1,946,611 円 (1,439,551 円)

[一財 1,946,611 円]

○ 目的

中学校の水泳学習を公共のプール活用により、夏季以外でも水泳学習を行うことで、計画的・効率的に学習を進め、水泳学習の質の向上を図る。

○ 内容

取手グリーンスポーツセンターのプールにおいて、水泳学習を行う。生徒の移動は安全面を配慮し借上げバスを利用した。

・水泳学習業務委託(指導員謝礼・施設管理費等)	953,551 円
・生徒移動用バス借上料	993,060 円

○ 効果

永山中学校全学年において、それぞれ3回、計9回の水泳学習を行った。屋内プールの利点を生かし、天候に左右されず、年間を見通して計画的・効率的に授業を実施することができた。

生徒の泳力に応じたコース(3コース)を設定し、個に応じた指導ができ、泳力が向上した。また、指導員がそれぞれのコースに配置されたことによりきめ細かな指導と

安全確保ができた。

[担当：指導課] P. 363

5101 インクルーシブ教育システム構築モデル事業に要する経費

1,141,736円(1,195,574円)

[国・県 1,141,736円]

* 特財内訳

[国委：インクルーシブ教育システム構築モデル事業委託金 1,141,736円]

○ 目的

障害のある児童生徒と障害のない児童生徒が共に学ぶ教育システムの構築に向け、児童生徒の状況に応じて提供する合理的配慮の実践事例を蓄積し、合理的配慮のための校内体制の整備等について実践研究を行う。

○ 内容

「インクルーシブ教育システム構築モデル事業」は国の委託事業として平成25～27年度の3年間で取手市立取手小学校をモデル校として実施した。

障害のある児童のその状況に応じた合理的配慮の実践事例を蓄積するとともに、合理的配慮のための校内体制の整備等について実践研究を行った。この研究では、専門家協力員や合理的配慮協力員のアドバイスを生かした実践を積み重ね、教育的ニーズに応じた合理的配慮の実践事例を蓄積した。

- ・ 専門家協力員等への謝礼 798,380円
- ・ 研修、研究発表会等出席時旅費 14,260円
- ・ パンフレット印刷費 39,690円
- ・ 参考図書・事務用品等購入費 289,406円

○ 効果

支援を要する児童への合理的配慮が明確になり、効果的な取り組みの実践事例を蓄積することができた。また、合理的配慮に関して専門家のアドバイスを得て学校と保護者、スクールカウンセラー等との連携が深まった。

[担当：指導課] P. 363

5201 学校保健・学校安全研究推進校事業に要する経費 45,000円(45,000円)

[国・県 45,000円]

* 特財内訳

[県委：学校保健・学校安全研究推進校委託金 45,000円]

○ 目的

児童生徒の健康・安全に関する今日的課題について実践的研究を行い、その充実を図る。

○ 内容

研究用事務用品 45,000円

○ 効果

研究推進校の生徒の健康・安全に関する意識の向上について普段の生活の様子や観察、アンケート調査により把握し、実態に即した指導をすることにより、体や心の健康、生活の安全についての学習を推進することができた。

1 教育総務費 5 青少年育成費

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 365

1001 青少年健全育成に要する経費 10,539,859 円 (10,730,772 円)

[国・県 52,110 円 その他 13,560 円 一財 10,474,189 円]

* 特財内訳

[県補：青少年相談員店舗訪問業務補助金 52,110 円]

[諸収入：特別青少年相談員雇用保険料本人負担分 13,560 円]

○ 目的

青少年センターに配置した特別青少年相談員と各地区から委嘱した青少年相談員を中心に、青少年自身や保護者からの悩みごとや困りごとなどの相談を受けるとともに、学校や関係機関団体と協力して街頭指導を行い、問題行動の早期発見、早期解消を図り、青少年が安心して生活できる街づくりに努める。

また、青少年育成団体に助成を行うことにより、青少年の健全育成に関わる市民活動の活性化を図る。

○ 内容

- ・報酬 青少年相談員報酬 5,865,600 円(月額 9,400 円×52 人×12 か月)
206,800 円(月額 9,400 円×2 人×11 か月)
75,200 円(月額 9,400 円×1 人×8 か月)
特別青少年相談員報酬 2,712,000 円(月額 113,000 円×2 人×12 か月)
- ・負担金、補助及び交付金 5 団体 1,280,800 円

○ 効果

青少年健全育成の意識の高揚が図られ、青少年の心身の健全なる育成を推進することができた。

2 小学校費 1 学校管理費

[担当：学務給食課] P. 367

2001 小学校管理に要する経費 230,880,553 円 (238,510,739 円)

[その他 8,827,905 円 一財 222,052,648 円]

* 特財内訳

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 7,600,000 円]

[使用料：学校開放小学校体育館使用料 956,400 円]

[諸収入：取手小太陽光発電による売電料 864 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 123,295 円]

[諸収入：工事に伴う市内小中学校光熱水費使用料 147,346 円]

○ 目的

教育環境の更なる充実を図ることで、児童の学習意欲を向上させ、「確かな学力」へと繋げる。

○ 内容

- ・TT(ティームティーチング)特別配置事業により、県からの TT 加配がついていない小学校 5 校(取手東小、白山西小、戸頭小、高井小、山王小)に TT 非常勤講師を配置し、課題別学習など多様な学習を展開し、個々に応じたきめ細かな指導を行った。(5,450,087 円)

- ・教育補助員を15校に配置し、障害のある児童の生活支援を行った。(69,401,749円)

○ 効果

TT 非常勤講師の配置により個々に応じた対応ができ、基本的な学力の定着が図られた。また、教育補助員を配置することで、障害のある児童の生活支援ができた。

[担当：教育総務課] P.369

2101 小学校施設管理に要する経費 48,491,094円 (47,094,336円)

[一財 48,491,094円]

○ 目的

適切な維持管理により、小学校施設を良好な状態に保つ。

○ 内容

主な経費

- ・修繕料 各小学校の施設修繕料 12,762,543円
- ・委託料 各小学校の委託料 30,304,797円
 設備保守点検(機械警備、浄化槽、消防設備、電機設備空調設備、エレベーター等の保守点検委託等)
 樹木維持管理(草刈清掃、樹木消毒、剪定処分委託等)

○ 効果

適切な維持管理により、小学校施設を良好な状態に保つことができた。

[担当：学務給食課] P.371

2201 小学校保健衛生に要する経費 27,973,512円 (29,480,283円)

[その他 2,069,540円 一財 25,903,972円]

* 特財内訳

[負担金:日本スポーツ振興センター災害給付負担金 @460×4,499人=2,069,540円]

○ 目的

学校保健安全法の規定に基づく健康診断の実施と学校環境衛生検査の実施等を中心とした活動を通して、児童及び教職員の健康の保持増進を図る。

○ 内容

- ・学校嘱託医(26名)、歯科医(23名)、薬剤師(15名)、産業医(13名)の報酬
- ・児童、教職員健康診断委託 委託先:(公社)取手市医師会

小学生

区分	腎臓検診	蟻虫検査	貧血検査	心臓検診	結核精密検査	小児生活習慣病
対象	全学年	1・2・3年	4年	1年	精密検査対象者	4年
H27	4,913人	2,335人	621人	906人	2人	621人
H26	4,972人	2,384人	631人	876人	11人	631人

※腎臓検診の人数は二次検査者を含む。

※心臓検診の人数は心音図検査者と12誘導心電図検査者の合計。

職員

区分	腎臓検診	貧血検査	心臓検診	生化学検査 血圧・身体・腹囲測定	胃検診	胸部検診
H27	28人	28人	28人	28人	8人	29人
H26	33人	33人	33人	33人	9人	30人

・学校環境衛生検査の実施（学校プール水質検査・教室等の環境検査・水道管理検査）

○ 効果

児童及び教職員の健康の保持増進が図られた。

[担当：教育総務課・学務給食課] P. 373

2301 小学校統廃合に要する経費 5,911,332円（21,987,180円）

[その他 2,000,000円 一財 3,911,332円]

* 特財内訳

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 2,000,000円]

○ 目的

取手市立白山西小学校及び稲小学校の閉校準備と取手西小学校の開校準備を行う。

○ 内容

平成28年3月に閉校する対象校2校の閉校に係る経費と、平成28年4月から開校する取手西小学校に必要な経費である。

・校歌・校章の作成謝礼、閉校記念品	612,782円
・統合校名札、閉校式次第印刷費・消耗品	323,359円
・閉校式出欠確認用ハガキ代	2,080円
・引越業務委託料	939,600円
・統合サイン工事	561,600円
・統合校校旗、印旗、体育館舞台幕等	1,551,292円
・学校ポータル統合業務委託料	1,620,000円
・校務支援システム統合業務委託料	97,200円
・リース機器移設委託料	99,360円
・理科室不用薬品処分委託料	104,059円

○ 効果

統合準備協議会での協議結果に基づき、取手西小学校が円滑に開校できるように準備をすることができた。また、平成28年3月31日をもって閉校した2つの小学校で児童、教職員、関係者の他、多くの卒業生や地域の方にご列席いただき盛大に閉校式を行うことができた。

2 小学校費 2 教育振興費

[担当：学務給食課] P. 373

2001 小学校教育振興に要する経費 11,678,924円（12,361,333円）

[一財 11,678,924円]

○ 目的

学校行事等の経費及び教材教具の充実と維持管理を図る。

○ 内容

主に教育教材の維持管理に要する経費である。

教材用消耗品(15校)10,362,590円

○ 効果

学校行事等の経費や教材教具を整えたことにより、より良い学習効果が得られた。

[担当：学務給食課] P.375

2101 小学校教育設備及び教材費に要する経費 27,233,098円 (31,585,530円)

[国・県 746,000円 一財 26,487,098円]

* 特財内訳

[国補：理科教育設備整備費等補助金 746,000円]

○ 目的

教材台帳の整備基準に基づき、教育設備及び教材を整備し、良好な学習環境を保つ。

○ 内容

(単位：円)

区分	児童用教材	理科教材	図書	特別支援 学級教材	合計
H27	13,523,641	2,280,044	9,179,649	850,849	25,834,183
H26	16,169,359	3,058,891	9,812,194	656,286	29,696,730

○ 効果

各教科の指導を進めるうえで不可欠な教材教具及び図書、理科備品を整備することで、良好な教育環境を保つことができた。

[担当：学務給食課] P.375

2201 小学校コンピュータ整備に要する経費 39,652,944円 (21,320,556円)

[一財 39,652,944円]

○ 目的

高度情報化社会に対応した学習活動を行うための情報機器を整備し、インターネットを利用した教育環境の充実を図る。

○ 内容

・主に小学校15校のパソコン使用料(各校21台から40台に変更)に要する経費である。

・取手地区小学校9校のパソコン教室にて、1人1台の学習ができるよう、タブレット型パソコンを整備した。

○ 効果

・小学校15校において、パソコン教材を活用した学習により、一層の教育の充実が図られた。

・取手地区小学校9校においては、可動式のタブレット型パソコンを整備したことで、普通教室や特別教室でもデジタル教材を利用した学習ができるようになった。

[担当：学務給食課] P.375

2301 要保護・準要保護児童就学奨励費 31,646,992円 (32,939,659円)

[国・県 2,795,240円 一財 28,851,752円]

* 特財内訳

[国補：要保護児童就学援助費補助金 39,693 円×1/2≒20,000 円]

[国補：特別支援教育就学奨励費補助金 4,403,380 円×1/2 以内≒2,075,000 円]

[県補：県被災児童就学支援等事業補助金 700,240 円×10/10=700,240 円]

○ 目的

学校教育法に基づき、経済的理由により就学困難な小学校児童の保護者に対し、教育費の援助を行うことで、教育環境の向上に寄与する。

内容

給食費、学用品費、新入学用品費、校外活動費、修学旅行費、医療費を援助した。

・要保護、準要保護及び被災児童就学援助者数

区 分	要保護数	準要保護数	被災児童数	合 計
H27	21 人	417 人	10 人	448 人
H26	22 人	419 人	8 人	449 人

・特別支援教育就学奨励者数

区 分	在籍者数	該当者数
H27	188 人	131 人
H26	156 人	119 人

○ 効果

保護者に対し経済的援助を行うことにより、教育環境の向上に寄与することができた。

[担当：指導課] P. 375

2901 小学校特別活動助成に要する経費 2,476,917 円 (2,306,517 円)

[一財 2,476,917 円]

○ 目的

音楽発表・体育大会等を通して児童の活動への意欲を高める。

○ 内容

- ・音楽発表会送迎バス借上料・楽器運搬費 1,090,000 円
- ・陸上記録会補助金 1,310,000 円
- ・賞状印刷代 76,917 円

○ 効果

市音楽会、体育大会等への参加により、児童のスポーツ等への関心意欲が高まり、活動意欲の向上が図られた。

2 小学校費 3 学校建設費

[担当：教育総務課・学務給食課] P. 377

2101 小学校施設整備に要する経費 509,426,169 円 (21,820,210 円)

[地方債 458,700,000 円 その他 35,655,000 円 一財 15,071,169 円]

* 特財内訳

[市債：合併特例債 482,892,840 円×95%≒458,700,000 円]

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 35,655,000 円]

○ 目的

「石綿障害予防規則」の施行により規制追加になった煙突材料の石綿含有率調査を行う。

各小学校の施設を整備し、教育環境の充実を図る。また、児童の熱中症対策ならびに快適な学習環境を整えるため、空調設備の設置工事を行う。

小学校の校内LANは、機器の劣化が著しいことから改修を行うものである。また、校内に無線LANの環境が整備されていないため、可動式情報端末を普通教室や特別教室で更なる利活用ができるよう無線LAN環境を新たに整備する。

○ 内容

・アスベスト含有調査業務委託	961,200円
・空調設備設置工事	482,892,840円
・施設管理営繕工事	12,912,977円
・校内LAN改修工事実施設計業務委託 (寺原小、戸頭小、取手東小、白山小)	1,663,200円
・取手小学校校内LAN改修工事	10,596,168円

○ 効果

各小学校施設の煙突材の石綿含有率調査を行い、石綿含有率の状況確認をすることができた。

各小学校施設の整備を行い、安全かつ快適な教育環境を提供することができた。また、空調設備設置工事を行い、児童の熱中症対策ならびに快適な学習環境を提供し、学習意欲の向上が図られた。

取手小学校では、校内LANの改修工事に伴い、無線LANの環境整備を行ったことで、普通教室や特別教室においても、情報の取得がしやすい快適な教育環境にすることができた。また、校内LAN改修工事の実施設計を行い、平成28年度工事実施に向けての準備が進められた。

[担当：教育総務課] P.377

22 小学校建設事業に要する経費 468,115,200円 (1,072,881,720円)

[国・県 97,697,000円 地方債 351,100,000円 その他 18,519,000円
一財 799,200円]

* 特財内訳

[国補：学校施設環境改善交付金 97,697,000円]

[市債：合併特例債 (458,788,000円-94,936,000円) ×95%≒345,500,000円]

[市債：全国防災事業債 (8,528,000円-2,861,000円) ×100%≒5,600,000円]

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 18,419,000円]

[諸収入：学校給食用冷凍庫保管設備助成金 100,000円]

○ 目的

平成28年4月に学校統廃合に合わせ、存続校となる稲小学校校舎及び体育館の大規模改造工事を行い、学校施設の充実を図る。

高井小学校校舎・体育館においては、老朽化が著しいことから大規模改造工事実施設計(実施設計見直し)を行い、平成28年度に速やかに工事が実施できるよう準備を進める。

○ 内容

- ・ 稲小学校 467,316,000 円
 - 校舎・体育館大規模改造工事監理業務委託 9,396,000 円
 - 校舎・体育館大規模改造工事 457,920,000 円
- ・ 高井小学校 799,200 円
 - 校舎・体育館大規模改造工事
実施設計見直し業務委託 799,200 円

○ 効果

平成28年4月に学校統廃合により、存続校となる稲小学校の校舎・体育館大規模改造工事を行い、学校施設の充実が図られた。

高井小学校校舎・体育館の大規模改造工事实施設計業務委託(実施設計見直し)を行い、平成28年度に速やかに工事が実施できるよう準備が進められた。

2 小学校費 4 学校給食費

[担当：学務給食課] P. 379

2001 給食運営に要する経費 284,660,312 円 (302,618,754 円)

[国・県 383,000 円 その他 175,890,774 円 一財 108,386,538 円]

* 特財内訳

[県補：米飯給食普及拡大事業費補助金 383,000 円]

[諸収入：小学校給食代(自校分) 175,852,913 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 37,861 円]

○ 目的

安全でおいしく、栄養バランスのとれた学校給食の提供。

○ 内容

主な経費

項 目	内 容	金 額
小荷物専用昇降機保守点検委託料	小荷物専用昇降機保守点検(13校)	1,271,160 円
換気設備清掃委託料	給食室用換気設備の清掃(9校)	1,410,480 円
給食排水槽清掃委託料	給食室用排水槽の清掃(9校)	1,250,640 円
給食室病虫害防除委託料	給食室等の病虫害の防除(15校)	680,400 円
学校給食調理業務委託料	調理業務を民間業者へ委託した。 (7校：取手小、白山小、寺原小、 白山西小、永山小、戸頭小、稲小)	81,518,400 円

○ 効果

安全で栄養バランスに配慮した給食の提供ができた。

[担当：学務給食課] P. 381

2101 給食施設整備に要する経費 4,656,781 円 (3,675,028 円)

[一財 4,656,781 円]

○ 目的

給食施設、設備の整備や修繕を行うことで、給食室内の衛生管理の充実を図る。

○ 内容

施設修理や厨房機器等の修繕を行った。

○ 効果

給食室内の衛生管理の充実を図ることができた。

3 中学校費 1 学校管理費

[担当：学務給食課] P. 383

2001 中学校管理に要する経費 65,121,443 円 (64,385,097 円)

[その他 1,759,746 円 一財 63,361,697 円]

* 特財内訳

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 1,200,000 円]

[使用料：学校開放中学校体育館使用料 368,400 円]

[使用料：学校開放中学校武道場使用料 84,200 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 13,111 円]

[諸収入：工事に伴う市内小中学校光熱水費使用料 94,035 円]

○ 目的

教育環境の更なる充実を図ることで、生徒の学習意欲を向上させ、「確かな学力」へ繋げる。

○ 内容

教育補助員を3校(取手二中、藤代中、藤代南中)に配置し、障害のある生徒の生活支援を行った。(6,345,350 円)

○ 効果

教育補助員を配置することで、障害のある生徒の生活支援ができた。

[担当：教育総務課] P. 385

2101 中学校施設管理に要する経費 21,549,057円 (20,643,683円)

[一財 21,549,057円]

○ 目的

適切な維持管理により、中学校施設を良好な状態に保つ。

○ 内容

主な経費

・修繕料	各中学校の施設修繕料	7,730,010円
・委託料	各中学校の委託料	12,293,856円
	設備保守点検(機械警備、浄化槽、消防設備、電機設備空調設備、エレベーター等の保守点検委託等)	
	樹木維持管理(草刈清掃、樹木消毒、剪定処分委託等)	

○ 効果

適切な維持管理により、中学校施設を良好な状態に保つことができた。

[担当：学務給食課] P. 387

2201 中学校保健衛生に要する経費 13,859,348 円 (15,024,379 円)

[その他 931,960 円 一財 12,927,388 円]

* 特財内訳

[負担金：日本スポーツ振興センター災害給付負担金 @460 円×2,026 人=931,960 円]

○ 目的

学校保健安全法の規定に基づく健康診断の実施と学校環境衛生検査の実施等を中心とした活動を通して、生徒及び教職員の健康の保持増進を図る。

○ 内容

- ・学校嘱託医(12名)、歯科医(10名)、薬剤師(6名)、産業医(5名)の報酬
- ・生徒、教職員健康診断委託 委託先:(公社)取手市医師会
中学生

区分	腎臓検診	貧血検査	心臓検診	結核精密検査	小児生活習慣病
対象	全学年	2年	1年	精密検査対象者	2年
H27	2,367人	478人	929人	4人	478人
H26	2,407人	529人	934人	1人	529人

※腎臓検診の人数は二次検査者を含む。

※心臓検診の人数は心音図検査者と12誘導心電図検査者の合計。

職員

区分	腎臓検診	貧血検査	心臓検診	生化学検査 血圧・身体・腹囲測定	胃検診	胸部検診
H27	36人	36人	36人	36人	4人	35人
H26	30人	30人	30人	30人	4人	24人

- ・学校環境衛生検査の実施(プール水質検査・教室等の環境検査・水道管理検査)

○ 効果

生徒及び教職員の健康の保持増進が図られた。

3 中学校費 2 教育振興費

[担当：学務給食課] P.389

2001 中学校教育振興に要する経費 6,008,434 円 (5,982,627 円)

[一財 6,008,434 円]

○ 目的

学校行事等の経費及び教材教具の充実と維持管理を図る。

○ 内容

主に教育教材の維持管理に要する経費である。

教材用消耗品(6校) 5,992,434 円

○ 効果

学校行事等の経費や教材教具を整え、より良い学習環境が得られた。

[担当：学務給食課] P.389

2101 中学校教育設備及び教材費に要する経費 15,437,772 円 (15,835,878 円)

[国・県 626,000 円 一財 14,811,772 円]

* 特財内訳

[国補：理科教育設備整備費補助金 626,000 円]

○ 目的

教材台帳の整備基準に基づき、教育設備の良好な環境を図る。

○ 内容

(単位：円)

区分	生徒用教材	理科教材	図 書	合 計
H27(6校)	6,750,921	1,602,253	5,810,678	14,163,852
H26(6校)	5,957,443	1,735,799	6,167,244	13,860,486

○ 効果

各教科の指導を進めるうえで不可欠な教材教具及び図書、理科備品を整備することにより、良好な教育環境を保つことができた。

[担当：学務給食課] P.389

2201 中学校コンピュータ整備に要する経費 26,129,869 円 (24,341,266 円)

[一財 26,129,869 円]

○ 目的

高度情報化社会に対応した学習活動を行うために、インターネット回線を利用した教育環境の充実を図る。

○ 内容

パソコン使用料 23,846,400 円

○ 効果

中学校6校において、パソコン教材を活用した学習により、一層の教育の充実が図られた。

[担当：学務給食課] P.389

2301 要保護・準要保護生徒就学奨励費 30,742,677 円 (31,978,470 円)

[国・県 871,856 円 一財 29,870,821 円]

* 特財内訳

[国補：要保護生徒就学援助費補助金 57,290 円×1/2≒28,000 円]

[国補：特別支援教育就学奨励費補助金 1,033,744 円×1/2 以内≒455,000 円]

[県補：県被災生徒就学支援等事業補助金 388,856 円×10/10=388,856 円]

○ 目的

学校教育法に基づき、経済的理由により就学困難な中学校生徒の保護者に対して、教育費の援助を行うことで、教育環境の向上に寄与する。

○ 内容

給食費、学用品費、新入学用品費、校外活動費、修学旅行費、医療費を援助した。

・要保護、準要保護及び被災生徒就学援助者数

区 分	要保護数	準要保護数	被災生徒数	合 計
H27	12 人	276 人	4 人	292 人
H26	13 人	279 人	4 人	296 人

・特別支援教育就学奨励者数

区 分	在籍者数	該当者数
H27	47 人	21 人
H26	46 人	23 人

○ 効果

対象の保護者に対し経済的援助を行うことにより、教育環境の向上に寄与することができた。

[担当：指導課] P. 389

2901 中学校特別活動助成に要する経費 16,722,411円 (12,514,034円)

[一財 16,722,411円]

○ 目的

音楽発表・体育大会(県南大会・県大会・関東大会・全国大会)等を通して生徒の活動意欲を高める。

○ 内容

音楽コンクール参加負担金	538,200円
体育大会等派遣補助金	5,065,810円
大会派遣用自動車借上料・楽器運搬費	11,044,521円
消耗品・賞状印刷代	62,780円
運動部活動外部指導者賠償保険料 @1,850×6人=11,100円	

○ 効果

市音楽会、音楽コンクール、体育大会等への参加により、生徒の音楽やスポーツへの関心・意欲が高まり、活動意欲の向上が図られた。

3 中学校費 3 学校建設費

[担当：教育総務課] P. 391

2001 中学校施設整備に要する経費 25,212,571円 (9,306,607円)

[地方債 4,500,000円 その他 10,913,000円 一財 9,799,571円]

* 特財内訳

[市債：合併特例債 4,806,000円×95%≒4,500,000円]

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 10,913,000円]

○ 目的

「石綿障害予防規則」の施行により規制追加になった煙突材料の石綿含有率調査を行う。

各中学校の施設を整備し、老朽化により雨漏りをしていた藤代南中学校の体育館屋根改修工事を行い、教育環境の充実を図る。また、空調設備設置工事の実設計を行い、平成28年度に速やかに工事が実施できるよう準備を進める。

○ 内容

・アスベスト含有調査業務委託	502,200円
・空調設備設置工事実施設計業務委託料	4,806,000円
・施設管理営繕工事	7,946,640円
・藤代南中体育館屋根改修工事	11,718,000円

○ 効果

各中学校施設の煙突材の石綿含有率調査を行い、石綿含有率の状況確認をすることができた。

各中学校施設の整備を行い、安全かつ快適な教育環境を提供することができた。ま

た、藤代南中学校の体育館屋根改修工事を行うことにより、学習環境の改善を図ることができた。そして、空調設備設置工事の実施設計を行い、平成28年度工事実施に向けての準備が進められた。

[担当：教育総務課] P.391

21 中学校建設事業に要する経費 148,683,600円 (26,665,200円)

[国・県 53,411,000円 地方債 93,600,000円 その他 72,000円]

一財 1,600,600円]

* 特財内訳

[国補：学校施設環境改善交付金 53,411,000円]

[市債：緊急防災・減災事業債 9,146,600円×100%≒9,100,000円]

[市債：全国防災事業債 (137,424,000円-52,865,000円) ×100%≒84,500,000円]

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 72,000円]

○ 目的

藤代中学校体育館耐震補強工事を行い、学校施設の充実と安全性の確保を図る。

○ 内容

- ・ 藤代中学校 148,683,600円

体育館耐震補強工事監理業務委託	3,963,600円
体育館耐震補強工事	144,720,000円

○ 効果

藤代中学校体育館耐震補強工事により耐震性能の向上が図られた。

3 中学校費 4 学校給食費

[担当：学務給食課] P.393

2001 給食運営に要する経費 148,457,364円 (147,287,504円)

[国・県 187,000円 その他 90,913,795円 一財 57,356,569円]

* 特財内訳

[県補：米飯給食普及拡大事業費補助金 187,000円]

[諸収入：中学校給食代(自校分) 90,899,821円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 13,974円]

○ 目的

安全でおいしく、栄養バランスのとれた学校給食の提供。

○ 内容

主な経費

項目	内容	金額
小荷物専用昇降機保守点検委託料	小荷物専用昇降機保守点検(6校)	700,920円
換気設備清掃委託料	給食室用換気設備の清掃(4校)	636,120円
給食排水槽清掃委託料	給食室用排水槽の清掃(4校)	685,800円
給食室病虫害防除委託料	給食室等の病虫害の防除(6校)	432,000円
学校給食調理業務民間委託料	調理業務を民間の業者へ委託した。(4校:取手一中、取手二中、永山中、戸頭中)	44,760,600円

○ 効果

安全で栄養バランスに配慮した給食の提供ができた。

[担当：学務給食課] P. 393

2101 給食施設整備に要する経費 1,942,983 円 (1,533,229 円)

[一財 1,942,983 円]

○ 目的

給食施設、設備の整備や修繕を行うことで、給食室内の衛生管理の充実を図る。

○ 内容

施設修理や厨房機器等の修繕を行った。

○ 効果

給食室内の衛生管理の充実を図ることができた。

4 幼稚園費 1 幼稚園管理費

[担当：学務給食課] P. 395

2001 幼稚園管理に要する経費 10,875,522 円 (10,195,619 円)

[その他 2,346,898 円 一財 8,528,624 円]

* 特財内訳

[使用料：市立幼稚園保育料（保護者負担分） 2,210,800 円]

[使用料：市立幼稚園預かり保育料 89,000 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 47,098 円]

○ 目的

市立幼稚園を運営することにより、幼児教育の振興を図る。

○ 内容

市立幼稚園の入園、施設管理等の運営全般に要する経費である。

年 度	4 歳児	5 歳児	合 計
H27	21 人	23 人	44 人
H26	19 人	23 人	42 人

○ 効果

市立幼稚園の適切な管理と運営により、質の高い幼児教育を提供することができた。

[担当：学務給食課] P. 397

2101 幼稚園保健衛生に要する経費 647,717 円 (633,161 円)

[その他 5,940 円 一財 641,777 円]

* 特財内訳

[負担金：日本スポーツ振興センター災害給付負担金 @135×44 人=5,940 円]

○ 目的

学校保健法に基づき、園児の定期健康診断を実施することにより、健康保持を図る。

○ 内容

・ 幼稚園嘱託医(1名)、歯科医(1名)、薬剤師(1名)の報酬

・ 園児健康診断委託 委託先：(公社)取手市医師会

区分	腎臓検診	蟻虫検査
H27	44人	44人
H26	42人	42人

※腎臓検診の人数は二次検査者を含む。

○ 効果

定期検診を実施することにより、園児に対する健康管理や指導が徹底され健康保持が図られた。

4 幼稚園費 2 幼稚園振興費

[担当：学務給食課] P.399

2001 幼稚園就園奨励費補助関係経費 30,618,200円 (148,421,000円)

[国・県 8,964,000円 一財 21,654,200円]

* 特財内訳

[国補：幼稚園就園奨励費補助金 補助対象経費

30,618,200円×1/3以内≒8,964,000円]

○ 目的

取手市幼稚園就園奨励費補助金交付要綱に基づき、園児の保護者に対し補助金を交付することにより、幼児の就園を奨励し幼児教育の振興を図る。

○ 内容

区 分	満3歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合 計
生活保護世帯	0人	0人	0人	0人	0人
市民税非課税世帯	1人	3人	2人	4人	10人
市民税所得割非課税世帯	0人	3人	1人	2人	6人
所得割課税 77,100円以下	0人	8人	9人	16人	33人
所得割課税 211,200円以下	11人	38人	45人	45人	139人
上記区分以外の世帯	5人	14人	7人	7人	33人
合 計	17人	66人	64人	74人	221人

○ 効果

園児の保護者に対し補助金を交付することにより、幼児の就園奨励及び幼児教育の振興に寄与することができた。

[担当：学務給食課] P.399

2002 幼稚園児保育料補助関係経費 7,337,896円 (38,576,244円)

[一財 7,337,896円]

○ 目的

幼児教育の振興を図るため、保護者に対して保育料の一部を補助し、幼児教育に係る経済的負担を軽減する。

○ 内容

対象者：取手市在住で私立幼稚園に在園する満3・3・4・5歳児の保護者

区 分	満3歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合 計
月額2,500円	18人	71人	76人	88人	253人

補助額 7,325,000円

○ 効果

保護者の保育料に対する経済的負担を軽減し、幼児教育の振興に寄与することができた。

5 社会教育費 1 社会教育総務費

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 403

2001 成人式に要する経費 1,847,500 円 (2,110,000 円)

[一財 1,847,500 円]

○ 目的

成人に達した若者の新たなる門出と今後の活躍を願い、式典を開催することで祝福する。

○ 内容

平成 27 年度新成人の該当者の中から市内各公立中学校の推薦を受け、実行委員会を組織し、成人式の企画・運営を委託事業として実施した。

年 度	性別	対象者(人)	参加者(人)	出席率(%)
H27 (H28. 1. 10 実施)	男	543	372	68.51
	女	519	352	67.82
	計	1,062	724	68.17
H26 (H27. 1. 11 実施)	男	514	356	69.26
	女	468	330	70.51
	計	982	686	69.86

○ 効果

成人式実行委員会に式典の進行やアトラクション等の企画・運営を委託することで、熱心に意見交換を行い、工夫を凝らした式典が実施できた。さらに記念冊子の編集作業を担当してもらうことで良い記念となる冊子の作成ができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 403

2201 生涯学習推進に要する経費 4,151,690 円 (3,305,104 円)

[その他 867,000 円 一財 3,284,690 円]

* 特財内訳

[諸収入：市民大学講座受講料 867,000 円]

○ 目的

生涯学習に係る活動の場を提供することにより、市民の生涯学習への意欲を高めるとともに、各分野にわたる学習活動への参加を促進し、生涯学習の一層の振興を図ることを目的とする。

○ 内容

(1) 生涯学習フェスティバル

生涯学習活動を実践している団体やサークルによる体験教室や活動発表などを通じて、幅広い世代間の交流と学びの場を提供するため、藤代スポーツセンターを会場にネットワークフェア 2015(来場者約 2,000 人)と同時開催で実施した。

実施コーナー	実施内容
取手生活学校	牛乳パックで作る銘々皿
昔あそびコーナー	昔の遊び(お手玉・折り紙・ベーゴマ・あやとりなど)体験
ふじしろ野鳥と楽しむ会	野鳥写真の展示、ミニ探鳥会の開催 鳥のぬり絵、野鳥クイズ
グラウンドゴルフ体験	グラウンドゴルフ体験
歌声喫茶・灯	ギターの演奏に合わせて童謡、懐かしのメロディなど来場者と共に歌う

(2) 出前講座

市民が「知りたい・聞きたい・学びたい」という内容を取りで学遊プラザリーダーバンク及び市職員が講師となって地域へ出向き講座を実施した。

派遣分野	H27		H26	
	件数	延べ受講者数	件数	延べ受講者数
リーダーバンク編・講座数	18	701人	15	676人
行政編・講座数	41	1,365人	47	1,666人

(3) 市民大学講座

市民がだれでも参加できる教養・専門講座「市民大学」を開講し、各分野の専門的な知識を持った講師を迎えて、中長期的な講座を開講した。

講座名	開催日	受講者
日本の古代史	4月8日～6月10日	81人
説話文学のおもしろさ	4月10日～5月22日	75人
わかりやすい源氏物語V	7月13日～8月24日	57人
将門の空と大地	11月26日～1月28日	110人
安心な海外旅行の心得と世界遺産への旅	1月27日～3月2日	76人

通常の市民大学に加え、東京大学(東京大学 EMP)から講師を招き、高齢化社会や地球環境、コミュニティづくりなどに関する先端的な、東京大学プラチナ特別講座と東京大学 EMP 特別講座を開講した。

東京大学プラチナ特別講座

講座名	開催日	受講者
課題解決先進国『日本』ープラチナ社会に向けたイノベーションー	10月2日	105人
長寿社会に生きる	11月24日	90人

東京大学 EMP 特別講座

講座名	開催日	受講者
日本思想における共生	1月13日	150人
水から考える持続性	2月23日	143人
看護の力、看護の役割	2月26日	132人

特別講演会

講座名	開催日	受講者
「生きる」 講師：野口健氏	2月21日	850人

(4) 農業ふれあい体験事業

委託料 198,000 円(取手市子ども地域活動促進事業実行委員会へ委託)

親子米づくり体験講座

市内全小学校の希望者を対象に、親子で田植え、稲刈りの体験学習を実施した。

事業名	実施日	場所	参加者
親子米づくり体験講座	5/9(田植え) 7/11(自然観察会) 9/12(稲刈り)	農業 ふれあい 公園	親子 235 人 (うち台東区民 23 人)

(5)家庭教育学級

市立幼・小中学校の親を対象に、家庭での教育力の向上及び親同士のコミュニケーションを図る場として家庭教育学級を設置し、社会教育指導員の指導により各学級単位の活動及び全体学習会を実施した。 23 学級 延べ参加人数 3,846 人

○ 効果

生涯学習フェスティバルでは、活動を実践している団体の体験教室に於いて幅広い世代に対して、交流と学びの場を提供することができた。また、親子米づくり体験講座では、親子での自然体験の活動機会を提供し、学校外活動の充実を図ることができた。

出前講座では、行政に対する理解と市民の生涯学習意欲の向上に加え、市内の各種能力・知識等を持った人材の活用を推進できた。

市民大学講座では、従来の講座に加えて、東京大学のエグゼクティブ・マネジメント・プログラムの教授陣を講師に迎え、「明るい未来を拓く先端知」について特別講座を開催し、市民が最先端の知識に触れる機会となった。

家庭教育学級では、「子育てと仲間づくり」をテーマに、親の学びの場として、子育てに関する情報提供や読み聞かせ、食育、子育て講話、健康づくり、研修視察等様々な学習会を開催し、家庭での教育力の向上を図った。

[担当：文化芸術課] P. 403

2801 市民芸術活動の推進に要する経費 3,963,974 円 (3,695,068 円)

[その他 2,212,000 円 一財 1,751,974 円]

* 特財内訳

[諸収入：オータムジャンボ宝くじ収益金市町村交付金 2,212,000 円]

○ 目的

市民の文化活動及び芸術活動を支援するとともに、文化事業を推進し、市民文化の向上と発展に寄与する。

○ 内容

(1)市主催事業の開催

事業名	開催日	内容	来場者数
第 44 回 取手市文化祭 (取手地区)	10/31, 11/1, 3 (3 日間)	取手地区の文化祭を取手市文化連盟に委託。伎芸発表と作品展を開催した。 会場：市民会館・福祉会館 委託料：1,000,000 円	7,849 人
平成 27 年度 取手市藤代 文化祭 (藤代地区)	10/11～11/29 (うち 9 日間)	藤代地区の文化祭を取手市藤代文化協会に委託。作品展、体験型催事及び部門発表を開催した。 会場：藤代公民館 委託料：500,000 円	2,293 人

2015 取手美術 作家展	6/6～6/17 (12日間)	身近な郷土作家による作品展を取手美術作家展に委託して開催した。39名 56点出品。 オープニングセレモニーではギャラリーコンサート等、また、一般向けギャラリーツアー、市内小中学生向けギャラリーツアー(4日間)実施。 (参加校 12校、819名) 会場：とりでアートギャラリー「きらり」 委託料：712,000円	1,967人
第46回 取手市民 美術展	10/23～11/30 (うち33日間)	第1部 洋画、彫刻、デザイン 98点 第2部 日本画、写真、書、工芸 101点 第3部 小中学生、特別支援学級 1,148点 会場：とりでアートギャラリー「きらり」 報償費・需用費：355,138円	4,823人

(2) 市内の文化団体への補助金交付

団体名	補助金額	目的
取手市文化連盟	288,000円	団体の運営補助
取手市藤代文化協会	210,000円	団体の運営補助
取手少年少女合唱団	80,000円	団体の運営補助
国際音楽の日コンサート	200,000円	一般公募補助事業採択
取手蜚輪	200,000円	一般公募補助事業採択

○ 効果

各文化団体への補助金は、市民が行う文化活動の活性化に寄与することができた。
また各団体が行う事業は内容を工夫することで来場者が増加した。

【担当：文化芸術課】 P. 405

2901 市民会館・福祉会館管理運営に要する経費 104,354,855円 (96,479,181円)

[その他 12,600,000円 一財 91,754,855円]

* 特財内訳

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 12,600,000円]

○ 目的

取手市の産業・経済・文化・教養の向上と市民の福祉増進及び住民生活の向上を図る。

○ 内容

(1) 需用費(修繕料)：1,017,360円

修繕名	内容	工期	金額
福祉会館ガス空調設備修繕	空調設備修繕	4/29～5/20	226,800円
市民会館電波障害施設撤去 及び屋外照明修繕	照明修繕	9/12～10/30	691,200円
市民会館中庭広場階段修繕	階段修繕	12/22～12/28	99,360円

(2) 委託料

・平成18年度から市民会館・福祉会館の管理運営に指定管理者制度を導入している。

指定管理者：(公財)取手市文化事業団

指定管理委託料：89,432,000円

年度	施設名	使用件数	入場者数	稼働率 (使用件数/使用可能日数)
H27	市民会館	158 件	54,478 人	56.4%
	福祉会館	7,993 件	190,490 人	100.0%
H26	市民会館	170 件	63,681 人	59.0%
	福祉会館	7,690 件	251,217 人	92.5%

(3) 使用料及び賃借料

リース名	内容	金額
電話交換設備賃貸借	電話交換設備リース	138,600 円

(4) 工事請負費：7,430,400 円

工事名	内容	工期	金額
福祉会館小ホール改修工事	小ホール改修工事	8/8～10/30	4,730,400 円
福祉会館・市民会館非常用放送設備改修工事	非常用放送設備改修工事	7/8～10/30	2,700,000 円

○ 効果

施設の維持管理を適切に行うことによって、文化活動の拠点を市民に提供し文化芸術の振興に寄与した。

[担当：文化芸術課] P. 405

3001 東京芸術大学との交流に要する経費 4,060,393 円 (4,123,342 円)

[その他 2,199,000 円 一財 1,861,393 円]

* 特財内訳

[諸収入：オータムジャンボ宝くじ収益金市町村交付金 2,199,000 円]

○ 目的

市内に東京芸術大学のキャンパスがあるという環境を活かし、市民と東京芸術大学との交流を深め、芸術的感性や知識を培い、文化・芸術の推進を図る。

○ 内容

(1) 東京芸術大学卒業・修了作品展における取手市長賞

市長賞賞賜金：1,000,000 円 (500,000 円×2 人)

第 64 回東京芸術大学卒業・修了作品展において優秀作品 2 点(工芸)に市長賞を授与した。受賞作品は本庁舎ロビーと福祉交流センターロビーに展示した。

種類	作品名	作者
工芸(彫金)	Material Universe(マテリアル ユニバース)	小宮 彩瑛
工芸(鋳金)	あらがい	岩本依留羽

(2) 市内小中学校と東京芸術大学との文化交流

指導者謝礼：2,562,000 円(東京芸術大学美術学部及び音楽学部学生等)

東京芸術大学の学生等が、交流を希望した市立小中学校で美術又は音楽の指導を行った。

- ・美術：小学校の授業で児童に絵画技法等を指導した。(交流校 15 校)
- ・音楽：中学校の吹奏楽部活動で生徒に演奏技法を指導した。(交流校 6 校)

(3) 東京芸術大学音楽学部学生によるふれあいコンサート

出演者謝礼：224,000 円

開催日	会場	内容	出演者数	入場者数
7/4(土)	戸頭公民館	声楽、ピアノ、ヴァイオリン	5人	170人
12/19(土)	福祉交流センター	木管五重奏	5人	200人
2/6(土)	取手ウェルネスプラザ	ピアノ三重奏	4人	330人

○ 効果

東京芸術大学との文化交流は、近隣市町村にはない特色ある貴重な事業である。身近で質の高い芸術に触れられるため、市民、児童生徒及び学校関係者に大変好評であり、文化・芸術の振興及び技術の向上を図ることができた。

[担当：文化芸術課] P. 407

3301 アートのあるまちづくり推進に要する経費 25,493,314円(30,018,976円)

[国・県 4,629,000円 その他 10,314,976円 一財 10,549,338円]

* 特財内訳

[国補：地域住民生活等緊急支援交付金 2,145,000円]

[国補：文化芸術振興費補助金 2,484,000円]

[諸収入：井野アーティストヴィレッジ利用料 4,874,976円]

[諸収入：オータムジャンボ宝くじ収益金市町村交付金 5,440,000円]

○ 目的

新たな視点に立った文化事業を実施し、取手市から全国へ、文化の発信を行う。東京芸術大学のキャンパスが市内にあるという環境を活かして、東京芸術大学の知識、技術、手法などを活用した他市町村にはない、文化・芸術によるまちづくりの推進を図る。

(1) 取手音楽の日「取手 JAZZ・DAYZ」

○ 内容

委託料：4,000,000円(公益財団法人取手市文化事業団)

取手市民会館、福祉会館で東京芸術大学、アマチュアバンド、プロバンドの演奏を行った。

○ 効果

取手市内だけでなく市外近郊からたくさんの方が来場し優れた演奏を鑑賞することができた。

(2) 水と緑と祭りの広場イルミネーション

○ 内容

委託料：2,484,000円

光の芸術に触れ合う機会を提供し行き交う人の目を楽しませることを目的に、藤代庁舎前の公園「水と緑と祭りの広場」にイルミネーションを設置した。イルミネーション事業は、平成26年度から実施しており、平成27年度は「昼も夜も楽しめるイルミネーション」をコンセプトにねぶたと同じ構造のイルミネーションを制作した。その他にも、ワークショップや写真撮影講座等も実施した。

○ 効果

人々が集う場所にイルミネーションを設置することは光の芸術に触れ合う機会を提供し、芸術文化の育成に貢献することができた。

(3)壁画によるまちづくり

○ 内容

委託料：5,994,000円(壁画によるまちづくり実行委員会)

芸術が生活の中に自然に溶け込んだアートのあるまちづくりを目指し、平成17年度から「壁画によるまちづくり実行委員会」を立ち上げ、東京芸術大学の協力を得ながら、「壁画」を中心としたプロジェクトを展開してきた。市民には大変好評であり、環境改善や防犯にも大きな役割を果たしてきた。

平成27年度はJR取手駅西口北側擁壁四谷橋下に日本を代表するグラフィティアーティストによる巨大壁画を完成させた。また、「県道/取手東線、JR常磐線高架下」の壁画が経年劣化していたので修復した。その他に、取手駅東西連絡通路内では壁面に設置したスクリーンにより映像作品の公開を行った。

○ 効果

「壁画」を制作することにより、落書きや不法ビラ等の犯罪をなくし、安全で快適な市民生活を実現し、芸術と市民生活が一体化した個性豊かな美しい街並みが形成された。

(4)取手の芸術活動連携サポート

○ 内容

委託料：700,000円(NPO法人取手アートプロジェクトオフィス)

市で行われる芸術活動をまちの地域資源として捉え、芸術文化団体のアート活動を資金面、広報発信面で支援した。

①「とりで グラント！」アーティストの広報(ポスター・チラシ等)活動支援事業(6団体)

②「とりでアートの日。」と題したとりでアートギャラリーを会場としたワークショップ事業(6団体・6本)

○ 効果

この事業をとおして取手を舞台に活動する芸術文化団体がそれぞれの活動を連携して発信することで市民の芸術体験の機会が増え、取手がより芸術に親しめる街として効果をあげた。

(5)井野アーティストヴィレッジ

○ 内容

東京芸術大学と市が連携し、長らく空き店舗となっていた井野団地ショッピングセンターにある一棟をUR都市再生機構より借り受け、東京芸術大学卒業生や若手芸術家のための「共同アトリエ」として一定期間賃貸提供する。

・UR都市再生機構から市が建物を借り、それを東京芸術大学が中心となって募集した若手芸術家にアトリエとして貸し出す

・東京芸術大学が7戸の施設整備費を負担

・7戸のうち1戸は東京芸術大学が管理のため利用し、市が家賃を負担

・1戸につき2名以上、利用期間2年

・地域との交流及びオープンスタジオへの参加が条件

・賃借人数

スタジオ名	101(管理運営)	102	103	104	105	106	107
賃借人数	2人	3人	4人	5人	4人	4人	4人

○ 効果

24名のアーティストが各アトリエにおいて創作活動を行った。7月にオープンスタジオを開催し、ワークショップ、アーティスト青空市を行った。空き店舗を利用し地域の活性化を図り、芸術によるまちづくりの推進に寄与することができた。

(6) 取手アートプロジェクト

○ 内容

補助金：3,240,000円(取手アートプロジェクト実行委員会)

取手アートプロジェクト(TAP)は、平成11年度より市民・東京芸術大学・取手市の三者が連携協力して、地域の特色を活かした芸術活動を行なっているプロジェクトである。

平成27年度事業内容	半農半芸・アートのある団地
開催期間	通年
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「半農半芸」は、高須地区を拠点として、地域資源の発掘とニーズの掘り起しに取り組み、地域行事への積極的な参加や耕作放棄地での綿花の栽培など地域環境の整備を行った。のべ917名の参加。 ・「アートのある団地」は、戸頭団地や井野団地を中心に住民参画型アート作品を制作し、東京藝大生や市内アーティストとの連携プログラムとして展覧会等を実施した。のべ6,528人の参加。

継続事業の主な活動概要

①こどもプログラム

学校へのアーティスト派遣事業(井野小学校閉校に伴い、開校した取手東小学校に舞台を移してマンガを制作)

②環境整備プログラム

戸頭団地外壁の壁画制作に係るプランニングを継続実施。

○ 効果

取手アートプロジェクトは、従来のフェスティバル型から通年型のプロジェクトに移行して以来、今年も長期的な視野に立つ企画の枠組みとして「アートのある団地」と「半農半芸」の2つの軸でプロジェクトを展開。取手アートプロジェクトを支えるスタッフの自主的で個性的な企画運営は、評価される場所である。当事業はアートのまち、アーティストの集まるまちとして取手市に潤いをもたらしている。

(7) 文化芸術振興費負担金

○ 内容

文化庁「平成27年度文化芸術振興費補助金(文化芸術による地域活性化・国際発信推進事業)」で採択され、補助金を受けた事業。「創造郊外—アジア圏での革新的アートプロジェクトの実践と発信」の実施。

(8) ストリートアートステージリング照明修繕

○ 内容

修繕料：157,140円

修繕名	内容	工期	金額
ストリートアートステージリング照明修繕	照明修繕	11/1～12/3	157,140円

取手駅東口の区画整理事業の完成を記念して、作成されたストリートアートステージは芸術を身近に感じることができる屋外ギャラリーとして市民に親しまれているが、

破損等で作品の夜間ライトアップが出来ないため設備改修を実施した。

○ 効果

設備の改修を行うことで人々が集う夜間でも芸術作品を身近に感じ芸術文化の育成に貢献することができた。

[担当：文化芸術課] P. 409

3401 市民会館改修事業に要する経費 22,237,200円(8,748,000円)

[地方債 14,700,000円 その他 7,537,000円 一財 200円]

* 特財内訳

[市債：市民会館整備事業債 19,602,000円×75%≒14,700,000円]

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 7,537,000円]

○ 目的

市民会館は開館から45年が経過し、機器の老朽化が著しく冷暖房の運転能力が低下している。また、配管設備も腐食等による事故が懸念されることから設備の交換改修を計画し、実施設計及び改修をおこない施設の適切な運営管理を図る。

さらに、舞台照明も開館以来、大規模な改修を行っていないため設備の劣化が激しく接触不良とみられる事故も発生していることから設備の改修を行うものである。

○ 内容

(1) 委託料：3,402,000円

委託名	内容	期間	金額
市民会館空調設備改修工事実施設計業務委託	空調設備改修	7/4～2/29	3,402,000円

(2) 工事請負費：18,835,200円

工事名	内容	期間	金額
市民会館楽屋空調設備設置工事	空調設備設置工事	5/13～7/31	2,635,200円
市民会館舞台照明設備改修工事	舞台照明設備改修工事	7/8～10/30	16,200,000円

○ 効果

施設の維持管理を適切に行うことによって、文化活動の拠点を市民に提供し文化芸術の振興に寄与した。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 409

3501 IT基礎技術講習会に要する経費 1,972,152円(2,008,332円)

[一財 1,972,152円]

○ 目的

IT講習会の内容充実と市民の情報収集・発信能力の向上に努める。

○ 内容

急速に進展する情報化社会に対応するため、パソコンボランティアを中心に公民館を利用して成人を対象にIT講習会を実施した。

○ 効果

パソコンの基本操作やワード、エクセルの入門講座に加えて、デジカメ入門や動画作成等の幅広いニーズに対応した講習会を実施し、多くの受講生の技術向上に寄与した。

[担当：文化芸術課] P. 409

3701 アートギャラリーの管理運営に要する経費 7,221,070円(7,110,430円)

[その他 255,800円 一財 6,965,270円]

* 特財内訳

[使用料：アートギャラリー使用料 171,800円]

[使用料：市民ギャラリー使用料 84,000円]

○ 目的

郷土作家、市民及び行政が一体となり創り上げたギャラリーにおいて、芸術作品の発表の場として、さらには文化・芸術交流の場として幅広い活動を展開する。

○ 内容

(1) 市主催事業の開催

事業名	開催日	内容	入場者数
サイン色紙展	5/19～ 5/31	取手市民会館で公演及び講演した芸能人、著名人のサイン色紙と当時のチラシの展覧会を開催した。	192人
にこにこ元気なとりでっ子!	8/1～ 8/31	市内の公立、私立保育所(園)15カ所に通う4歳児、5歳児の絵画約600点と立体工作物を合同で展示。合わせて4カ所の子育て支援センターの取り組みを紹介した。(第6回)	1,237人
とりでアートの日2015	8/1～ 8/31	市内の芸術家団体が幼児から大人まで楽しめるワークショップを6本開催した。	130人
小中学生児童生徒作品展	1/22～ 2/8	市内小中学生による絵画、書写、科学研究・発明工夫、統計グラフ(県展入選作品を含む)の優秀作品展。	1,669人
TORIDE MUSEUM-15日間だけの美術館	2/7～ 2/22	取手市内で長年活躍してきた郷土作家から現代アート作家まで35名の展示と取手の風景画12点を展示した。取手ウェルネスプラザ、とりでアートギャラリーきらり、リボンとりでの3会場で開催した。	3,769人

(2) アートギャラリーきらり貸出実績

期間	展示名
4/3～4/6	聖和会書道展
4/8～4/13	絵を描く仲間達展
4/16～4/21	東日本銀行OBと家族の作品展
4/23～4/29	16人+α写真展
7/16～7/20	君光と門人たち展
9/12～9/13	取手市小中学校科学研究作品展・発明工夫展
9/19～9/27	いばら会パステル画展
12/4～12/7	MOA美術館児童作品展取手市巡回展
12/15～12/16	着物リメイク展
3/1～3/7	萌黄の会写真展
3/10～3/15	取手洋画クラブ展
3/19～3/22	聖和会書道展

(3) 市民ギャラリーの管理

市民の発表の場として、取手駅東西連絡通路及び藤代駅橋上自由通路にある市民ギャラリーの貸し出しを行なった。

利用件数

ギャラリー名	平成 27 年度	平成 26 年度
取手駅市民ギャラリー	52 件	52 件
藤代駅市民ギャラリー	28 件	26 件

○ 効果

郷土作家や市民による作品等の発表及び鑑賞並びに文化交流の場を市民に提供し、文化・芸術の振興に寄与した。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 411

3801 放課後児童対策事業に要する経費 122,489,115 円 (329,257,746 円)

[国・県 42,677,000 円 その他 39,491,856 円 一財 40,320,259 円]

* 特財内訳

[国補：子ども・子育て支援交付金 @49,413,000×1/3=16,471,000 円]

[国補：子ども・子育て支援体制整備総合推進事業費補助金
@60,000×1/2=30,000 円]

[県補：子ども・子育て支援交付金 @49,413,000×1/3=16,471,000 円]

[県補：放課後児童対策事業補助金
放課後子供教室推進事業費補助金 @8,456,588 円×2/3≒5,637,000 円
地域の教育支援体制等構築事業費補助金
@6,103,101 円×2/3≒4,068,000 円]

[負担金：放課後児童対策事業保護者負担金 38,951,500 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担金 540,356 円]

○ 目的

市内の小学校に通う全児童を対象として、学校施設等を利用して、遊びや体験学習などで自主的に過ごせる場所を設け、子どもの健全育成を図る。

○ 内容

子どもの居場所づくり事業と児童クラブ事業を一体化し、平成 20 年度から「放課後子どもクラブ」として市内全小学校で開設している。

放課後や夏休み等の長期休業中に、小学校 1 年生から小学校 6 年生を対象に、安全で安心な子どもの活動拠点を小学校に設け、様々な体験活動を行うなど、総合的な放課後児童対策事業として実施した。

学習アドバイザーの活用や各種ボランティアとの交流など内容の充実に努めた。

放課後子どもクラブ登録児童数(通常利用登録者)

平成 28 年 3 月 31 日現在(単位:人)

小学校名	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年	合 計
取手小	47	45	30	26	9	11	168
白山小	35	41	34	25	21	7	163
取手東小	58	44	48	42	20	10	222
寺原小	42	41	25	29	22	7	166
永山小	40	36	34	22	9	2	143
白山西小	7	6	11	12	6	6	48
戸頭小	62	51	59	30	21	11	234

稲 小	23	22	30	17	10	6	108
高井小	15	14	18	9	6	3	65
山王小	9	7	10	11	1	5	43
六郷小	18	18	10	5	8	8	67
藤代小	36	34	38	16	14	3	141
宮和田小	25	26	38	24	4	1	118
久賀小	16	23	12	9	5	5	70
桜が丘小	24	30	15	15	13	0	97
合 計	457	438	412	292	169	85	1,853

○ 効果

児童の健全育成のために貢献することができた。また、全学年・全児童を対象としたことで異学年間の交流も図ることができた。

5 社会教育費 2 公民館費

[担当：公民館] P. 413

0501 公民館事務に要する経費 71,824,887 円 (105,584,196 円)

[地方債 8,900,000 円 その他 11,671,407 円 一財 51,253,480 円]

* 特財内訳

[市債：合併特例債 9,396,000 円×95%≒8,900,000 円]

[使用料：公民館使用料 5,827,840 円]

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 5,396,000 円]

[諸収入：コピー使用料 389,730 円]

[諸収入：電話通話料 5,850 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 51,987 円]

○ 目的

公民館施設の適切な管理運営と施設整備を行うことにより、市民の利用環境の充実を図る。

○ 内容

主な修繕・工事	・小文間公民館石綿除去工事	11,310,000 円
	・寺原公民館和室空調改修工事	1,576,800 円
	・藤代公民館耐震補強・	
	大規模改造工事实施設計業務委託	9,396,000 円
	・公民館施設修繕料	6,438,692 円

○ 効果

小文間公民館の和室天井裏の鉄骨梁部分に使用している耐火被覆材がアスベストの一種であることが判明したため、撤去工事を進め、施設の安全管理の充実を図った。

また、藤代公民館の建物や設備の老朽化に加え、耐震基準を満たしていない建物でもあることから、耐震補強工事並びに、利用者の多くが高齢者のためエレベーターの設置を含めた大規模改造工事の実施設計を行い、安全安心な環境整備を図った。

老朽化による機能損失が著しい寺原公民館の和室空調機の改修を行い、利用者の利用環境の改善を図った。また、各公民館の付帯設備等の老朽化に伴う故障や破損等で、使用に支障がある付帯設備等の修繕を行い、利用者の利便性を図った。

[担当：公民館] P. 415

2101 公民館活動に要する経費 1,644,920円 (1,651,954円)

[一財 1,644,920円]

○ 目的

公民館は、地域住民にとって最も身近な学習拠点として、教養の向上、生活文化の振興、社会福祉の増進等に寄与し、自主的な学習活動及び交流の場として重要な役割を担う。そのため、地域の特色を生かした事業を展開し、地域の振興を図る。

○ 内容

(1) 公民館各種事業

市内 14 公民館において、多様化する住民の学習ニーズ、高度化する学習内容に対応した活動の充実を図るため、それぞれの世代を対象にした講座、講演会及び子どもふれあいスクール事業などの公民館事業を展開した。

対象	事業名	期 間	回数	受講者数(人)	事業内容及び結果
青少年	ヒップホップ入門	6月	1	43	ヒップホップを体験。戸頭子どもふれあい広場と共催
	戸頭子どもまつり	7月	1	290	レクリエーションを通じて地域の子どもの交流を図る。
	新春子どもの集い	1月	1	160	餅つき大会、どんど焼きを行い、伝統行事や習慣を伝える。
	サマースクール	7月～8月 5館	6	110	小学生を対象にいろいろな工作教室や料理教室を実施した。
	夏休みセミナー	8月	2	20	はんかちの草木染め・葉脈標本のしおり作り。
	親子ふれあい事業 他	8月～1月	4	440	親子を対象に世代間交流事業を開催。流しそうめん体験やしめ縄作り、凧作りなどを行った。
	クリスマス人形劇	12月	1	200	劇団どんぐりによるクリスマス公演を開催した。
	クリスマスケーキ作り教室	12月	1	28	クリスマスケーキ作りを楽しく学ぶ。戸頭公民館にて、戸頭子どもふれあい広場と共催。
	昔の遊び	2月	1	38	ベーゴマやあやとり、折り紙などとゲームなどを体験する。
婦人	婦人学級	年間	各学級 10～12	1学級 11人～41人 8学級(187人)	出合いを大切に視野を広げ、楽しく学習しながら心豊かな人間性を高めた。
高齢者	高齢者学級	年間	各学級 11～13	1学級 19人～101人 3学級(149人)	敬愛される高齢者を目指して、健康・趣味・奉仕活動等を積極的に行い、物の見方や考え方、生きがいを見い出した。
	藤代学園	年間	11	1学級 238人	学習、趣味活動を通じて、社会情勢への円滑な適応を図った。
	ローンボール大会	9月	1	21	高齢者の親睦と健康維持。

成人	ふるさと講座	5月～11月	6	189	郷土に関することの学習を通し、郷土愛と交流を深めた。
	グリーンカーテン張	5月	1	5	節電対策の一環として、庁舎に設置した。
	着付け教室	7月・12月	2	11	ゆかたや、正月の着物の着付けを学習した。
	お父さんのつどい お母さんのつどい	10月	1	36	高須地区のお父さん、お母さんの研修視察を行い、交流を図る。
	初心者のそば打ち 体験講座	11月	1	15	自分でそばを打つ楽しさと秋の味覚を楽しんだ。
	しめ飾り作り講座	12月 7館	8	184	伝統的な「しめ飾り」を手作り体験した。
	クリスマスキャンドル講座	11月	1	14	市内成人を対象に、クリスマスキャンドル作り講座を実施。
	やさしい手相入門	1月	1	30	やさしい手相の見方を学ぶ。
	切り絵講座	1月～2月	3	50	切り絵の作り方を学んだ。出来上がった作品は公民館まつりに展示した。
一般	さつき展示会	6月	1	56	地域住民によるさつきの展示で地域の親睦を深めた。
	菊花展示会	11月	1	46	地域住民による菊の展示で地域の親睦を深めた。
	ソフトボール大会	6月・10月	2	125	ソフトボールの振興と地域親善を目指し、互いに交流を深めた。
	ゲートボール大会	10月	1	44	健康増進と地域の親睦と交流を深めた。(戸頭・永山共催)
	ペタンク大会	6・10月	2	94	スポーツ(ペタンク)を通じて、各世代間の交流を図った。
	運動会	5月 9月～10月	3	1,200	六郷、山王で小学校と合同で、相馬は地域で開催。
	クリスマスコンサート	12月	1	110	市民参加型のクリスマスコンサートを開催した。
	ファミリー ウォークラリー	11月	1	160	家族や仲間と一緒に地図を片手に歩くウォークラリーを開催。
	健康づくり講座	5月～2月	8	159	筑波大名誉教授による生活習慣病予防と運動の講座。
	夏まつり	8月	4	1,800	夏の風物詩の盆踊り、模擬店等で、地域の親睦を深める。
公民館まつり	2月～3月	11	5,012	作品展示や催しもの等、公民館で活動する団体による発表と地域交流の場を提供した。	

(2)各公民館利用状況

公民館名	年度	利用件数(件)	延べ利用者数(人)
中央公民館	H27	福祉会館との複合施設のため独自の算出はなし	
	H26		
小文間公民館	H27	1,180	11,898
	H26	1,465	15,942
永山公民館	H27	2,870	42,078
	H26	2,951	42,642
寺原公民館	H27	2,355	39,849
	H26	2,338	39,251
井野公民館	H27	4,475	82,955
	H26	4,635	90,456
戸頭公民館	H27	4,499	73,801
	H26	4,223	68,896
白山公民館	H27	2,927	58,954
	H26	2,997	57,061
藤代公民館	H27	3,010	59,402
	H26	3,008	60,942
山王公民館	H27	875	8,577
	H26	866	9,739
六郷公民館	H27	944	14,548
	H26	991	15,588
相馬公民館	H27	1,132	14,716
	H26	1,163	15,083
相馬南公民館	H27	1,540	20,126
	H26	1,592	20,788
高須公民館	H27	364	4,806
	H26	316	4,929
久賀公民館	H27	847	10,044
	H26	903	10,624
計	H27	27,018	441,754
	H26	27,448	451,941

○ 効果

地域の環境により、学級講座等の事業内容をそれぞれ特色のあるもので充実を図ったことで、大切な地域の拠点である公民館で、まちづくりや人づくりを推進させることができた。

5 社会教育費 3 図書館費

[担当：図書館] P.417

2001 図書館管理運営に要する経費 21,197,499円(31,081,559円)

[一財 21,197,499円]

○ 目的

図書館の利用者に安全で快適な場・空間を提供し、生涯学習活動の拠点として、市民の教育・文化の発展に寄与する。

○ 内容

自由で公平な資料提供を中心とする奉仕活動を行うため、適切な図書館施設の維持管理を行う。

[担当：図書館] P. 419

2101 図書館活動に要する経費 60,215,332 円 (58,243,496 円)

[その他 226,577 円 一財 59,988,755 円]

* 特財内訳

[諸収入：コピー使用料 154,750 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 71,827 円]

○ 目的

市民の多様化するニーズに対応すべく、読書環境の整備と奉仕活動の強化に努め、利用者へのより質の高いサービスと文化的で有意義な図書館資料の提供を図る。

○ 内容

(1) 主な事業

- ・子育て支援 ブックスタート事業(年間 24 回 630 冊)
乳幼児・児童向け読み聞かせ(のべ 229 回開催 参加者 2,734 人)
- ・学校との連携 学校図書館への支援(司書教諭との合同会議及び研修 2 回)
学校訪問お話し会(市内小学校 15 校 3・6 年生対象 1,236 人)
- ・図書館だより ライブラリープラス(6 回発行)、ほんバナ(4 回発行)
- ・図書館まつり 取手図書館(5/24 1,870 人)
ふじしろ図書館(4/26 2,132 人)

(2) 登録者数

(単位：人)

年齢別 登録者数	0～ 6 歳	7～ 12 歳	13～ 15 歳	16～ 18 歳	19～ 22 歳	23～ 29 歳	30～ 39 歳	40～ 49 歳	50～ 59 歳	60 歳 ～	合計
H27	709	2,684	1,834	2,163	2,572	3,834	6,270	7,142	4,323	13,009	44,540
H26	712	2,703	1,882	2,098	2,359	3,575	6,143	6,500	4,052	12,167	42,191
H25	701	2,777	2,113	2,399	2,925	4,652	7,579	7,073	4,556	13,116	47,891
H24	714	2,792	2,175	2,294	2,795	4,493	7,376	6,421	4,403	12,180	45,643
H23	707	2,881	2,206	2,135	2,565	4,332	7,117	5,795	4,273	11,188	43,199

(3) 利用状況

・入館者数

館名	入館者数(単位：人)				
	H27	H26	H25	H24	H23
取手図書館	171,288	172,237	171,750	179,498	170,614
ふじしろ図書館	192,766	192,403	195,856	202,396	198,107
合計	364,054	364,640	367,606	381,894	368,721

・館別貸出者数

館名	貸出者数(単位：人)				
	H27	H26	H25	H24	H23
取手図書館	83,757	83,777	83,358	85,525	84,016
ふじしろ図書館	85,640	87,990	87,637	89,939	89,870
戸頭公民館図書室	38,872	39,413	41,226	44,119	45,576

小文間公民館図書室	272	327	274	304	277
寺原公民館図書室	4,390	4,265	4,119	3,609	3,712
永山公民館図書室	862	686	566	741	761
ゆうあいプラザ図書室	3,138	3,002	3,202	3,217	3,165
井野公民館	2,051	1,940	1,779	1,778	1,786
取手駅前窓口	5,173	4,898	4,485	3,852	4,047
山王公民館	99	126	144	154	124
六郷公民館	625	652	652	608	559
相馬南公民館	478	553	443	479	392
久賀公民館	0	0	4	6	2
合 計	225,357	227,629	227,889	234,331	234,287

・貸出冊数

館 名	貸出冊数(単位：冊)				
	H27	H26	H25	H24	H23
取手図書館	251,604	258,776	260,781	273,067	267,856
ふじしろ図書館	254,961	262,406	264,307	277,829	279,526
戸頭公民館図書室	104,196	106,913	116,045	127,311	133,753
小文間公民館図書室	565	765	730	638	599
寺原公民館図書室	8,894	8,862	8,175	7,280	7,881
永山公民館図書室	1,901	1,338	1,156	1,655	1,698
ゆうあいプラザ図書室	7,106	7,271	7,884	7,942	8,011
井野公民館	3,865	3,757	3,431	3,396	3,248
取手駅前窓口	9,508	8,754	8,135	6,695	7,218
山王公民館	136	167	231	230	181
六郷公民館	1,058	1,089	1,174	1,104	978
相馬南公民館	719	905	706	778	654
久賀公民館	0	0	7	8	2
合 計	644,513	661,003	672,762	707,933	711,605

・予約(リクエスト)月別利用状況

月別	予約(リクエスト)件数(件)				
	H27	H26	H25	H24	H23
4月	8,682	9,648	9,487	9,288	7,715
5月	8,653	9,086	9,080	8,885	9,572
6月	8,566	8,708	9,178	8,683	8,629
7月	10,015	9,462	9,781	9,357	9,897
8月	9,387	10,228	9,675	9,188	9,987
9月	8,785	9,253	9,629	9,691	9,617
10月	9,557	9,583	9,541	9,451	9,689
11月	9,152	9,105	8,917	8,834	9,191
12月	9,018	8,389	8,771	8,788	8,488
1月	9,174	9,163	9,341	9,034	9,161
2月	9,078	8,674	8,495	9,370	9,809
3月	9,542	9,186	8,575	9,692	9,730
合計	109,609	110,485	110,470	110,261	111,485

○ 効果

図書館主催、ボランティアとの共催により、市民の読書活動、または図書館そのものに対する関心を高めるような行事を行った。また、ブックスタート事業を、配布冊数を見直しながらも引き続き実施するなど、子どもの読書活動推進のための事業に力を入れた。

[担当：図書館] P. 421

2201 図書館資料購入に要する経費 30,464,999 円 (32,844,784 円)

[その他 71,687 円 一財 30,393,312 円]

* 特財内訳

[諸収入：図書弁償金 40,157 円]

[諸収入：広告掲載料 31,530 円]

○ 目的

市民の幅広い図書館資料に対するニーズに応える。

○ 内容

図書館の収集方針に基づき、資料を整備し、市民の読書活動を支援できるよう努めた。

・ H27 年度館別購入数

館名	図書		雑誌	
	購入冊数	購入金額	購入種類	購入金額
取手図書館	5,809 冊	11,772,779	94 誌	710,495
ふじしろ図書館	5,970 冊	9,961,597	97 誌	953,153
戸頭公民館図書室	2,396 冊	3,851,768	32 誌	263,663
計	14,175 冊	25,586,144	179 誌	1,927,311
館名	新聞		AV	
	購入種類	購入金額	購入件数	購入金額
取手図書館	8 紙	373,680	22 件	77,152
ふじしろ図書館	11 紙	504,308	161 件	912,434
戸頭公民館図書室	6 紙	275,556	27 件	74,941
計	25 紙	1,153,544	210 件	1,064,527

・ 館別蔵書数 (各年度末日現在)

館名	図書(単位:冊)				
	H27	H26	H25	H24	H23
取手図書館	134,617	131,555	132,611	131,109	127,402
ふじしろ図書館	133,998	125,903	129,117	126,883	121,112
戸頭公民館図書室	56,236	55,718	56,704	56,909	56,766
小文間公民館図書室	2,338	2,578	2,521	2,668	2,487
寺原公民館図書室	4,760	5,006	4,967	4,604	4,870
永山公民館図書室	4,537	5,002	5,434	5,291	4,898
ゆうあいプラザ図書室	9,552	8,559	12,223	11,918	11,629
合計	346,038	334,321	343,577	339,382	329,164

館名	雑誌(単位:種類)				
	H27	H26	H25	H24	H23
取手図書館	94	93	101	93	99
ふじしろ図書館	97	96	112	96	101
戸頭公民館図書室	32	32	31	33	33
合計	179	177	183	176	185

館名	AV(単位:件)				
	H27	H26	H25	H24	H23
取手図書館	299	270	199	149	36
ふじしろ図書館	4,918	4,753	4,578	4,404	4,303
戸頭公民館図書室	61				
合計	5,278	5,023	4,777	4,553	4,339

○ 効果

各館の特徴を活かした資料収集・整備に努めたことで、利用者サービスが拡大した。

5 社会教育費 4 文化財保護費

[担当: 教育総務課] P. 423

2001 文化財保護に要する経費 2,193,544 円 (481,180 円)

〈1,563,062 円〉※〈 〉は、うち26年度繰越分

[その他 810 円 一財 2,192,734 円]

* 特財内訳

[諸収入: 市史・郷土史郵送料本人負担分 810 円]

○ 目的

文化財は市民共有の財産であり、地域の歴史の歩みを後世に永く伝える貴重な資料でもあるので、文化財保護法や県・市条例によって文化財保護が義務付けられている。市内の国・県・市指定文化財の保護・活用に努め、未指定の文化財についても調査を進める。

○ 内容

(1) 指定文化財補助金交付 (550,000 円)

指定文化財等補助金交付要綱に基づき、指定文化財の日常管理や修理・整備に対して補助金を交付した。

(単位: 円)

指定	指定文化財の名称	日常管理補助金	防災設備保守点検補助金	その他
		定額	補助率 7/8	【 】は補助率
国	龍禅寺 三仏堂	9,000	62,000	
県	本多作左衛門重次墳墓(本願寺)	9,000		
	大日山古墳(岡神社)	9,000		
	地藏ケヤキ(高源寺)	9,000		
	長禅寺 三世堂	9,000	31,000	
	東漸寺 山門・観音堂	9,000	37,000	

市	八坂神社 本殿・拝殿	9,000	51,000	【1/2】 149,000 [維持管理(蟻害防除)]
	白山神社 本殿	9,000	37,000	
	中妻貝塚(福永寺)	9,000		【1/2】 84,000 [維持管理(草刈)]
	阿弥陀如来坐像 (金仙寺)	9,000		
	絹本金地刺繍釈迦涅槃 図(信楽寺)	9,000		

(千円未満切り捨て)

(2) 文化財保護強調週間に伴う特別公開

11月1日から7日の文化財保護強調週間に合わせ、県・市指定文化財「旧取手宿本陣」と県指定文化財「長禅寺三世堂」の特別公開を実施した。

・旧取手宿本陣(10月30日～11月8日)

公開日	内容	参加人数	備考
10/30～11/8	連続公開	428人	
11/1	市民大学特別講座(会場本陣主屋)	104人	「弘法大師空海の生涯と業績」講師: 榊義孝先生(大正大学名誉教授, 市文化財保護審議会委員)

・長禅寺三世堂(11月6日～11月8日)

公開日	内容	参加人数	備考
11/6～11/8	内部特別公開	408人	

(3) 文化財案内板・説明板更新事業(繰越明許事業)

取手駅東口の市内案内板の情報更新事業と合わせ、取手駅東口ほか2か所の市内文化財マップと、埋蔵文化財センターや市内の指定文化財・旧跡などに設置している58基の文化財説明板の内、老朽化した18か所の計21か所について、文面の修理等を行う。

内容	契約金額	契約期間	備考
取手駅周辺案内看板修正業務委託	2,815,311円 (内、教育総務課分305,942円)	H27/2/13～ 10/30	繰越明許 【修理内容】 市内文化財マップ盤面更新(3か所)
文化財案内板・説明板更新業務委託	1,057,320円	H27/2/13～ H28/3/31	繰越明許 【修理内容】 説明板修理等(11か所) 案内標柱(6か所)
埋蔵文化財センター案内板更新業務委託	199,800円	H27/3/6～ 4/30	繰越明許 【修理内容】 埋文センター入口案内板

○ 効果

文化財の保存・管理について、補助金を交付することで、管理者の負担を軽減するとともに維持・修理を計画的に実施することができた。また、市内の指定文化財や旧跡に設置した案内板等の更新事業により、市民の文化財に対する理解と意識の高揚に寄与した。

[担当：教育総務課] P. 423

2101 旧取手宿本陣管理運営に要する経費 7,956,918円(7,465,347円)

[その他 240,000円 一財 7,716,918円]

* 特財内訳

[諸収入：本陣駐車場使用料 240,000円]

○ 目的

県・市指定文化財「旧取手宿本陣」の保存・管理を行い、一般公開することで文化財への愛着や関心を高める。

○ 内容

(1) 一般公開

年度	公開日	日数	見学者	平均	内容
H27	週3日 (金・土・日)	163日	7,969人	48.9人	・修復工事のビデオを随時放送。 ・土間でパネル展を実施した。 ・小学校などの団体見学では、職員が説明を行った。
H26	週3日 (金・土・日)	153日	5,608人	36.7人	同上

(2) 管理・運営経費

・一般公開に関する経費：1,682,050円

内 訳	支 出 額
消耗品費(パンフレット用紙等)	40,797円
公開日受付業務委託料	1,641,253円

・維持管理に関する経費：6,274,868円

内 訳	支 出 額
史跡指定地・駐車場賃借料	3,701,284円
日常管理委託料	492,480円
庭園維持管理委託料	788,400円
機械警備委託料	90,720円
消防用設備保守点検委託料	171,720円
火災保険料	52,650円
光熱水費・通信運搬費・下水道使用料	277,022円
屋外消火栓用据置鉛蓄電池修繕料	280,800円
その他修繕料 (消防設備発信機修繕・主屋障子張替等)	138,992円
新座敷空調設備設置工事費	280,800円

○ 効果

旧取手宿本陣の公開は、市民の歴史や文化財に対する関心を高めている。また、本陣見学者の約6割が市外からの訪問者であり、市の観光資源として活用されている。平成27年度は、26年度に引き続き取手ひなまつりのイベント会場となった。また、取手ひなまつりに合わせたJRの「駅からハイキング」の10日間の期間中を連続開館したり、街の魅力を取り上げるテレビ番組で放送されたため、平成26年度の来館者数を上回った。

[担当：教育総務課] P. 423

2301 埋蔵文化財センター管理運営に要する経費 5,169,853円(4,818,940円)

[その他 200,000円 一財 4,969,853円]

* 特財内訳

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 200,000円]

○ 目的

市内の埋蔵文化財調査・保護の中核施設としての埋蔵文化財センターを維持管理する。また、発掘調査などによって収集保管している郷土資料を展示・活用し、郷土史学習拠点とする。

○ 内容

平成27年度修繕一覧

内容	契約金額	契約期間	備考
空調設備ファン・ファンモーター修繕	134,460円	9/19～ 12/20	経年劣化の2階系統ファンおよびファンモーター修繕
自動ドアハンガー・吊車修繕	240,840円	H28/2/19～ 3/31	自動ドアを吊っている部品(ハンガーと吊車)経年劣化による部品交換
空調設備シリンダーヘッド修繕	133,920円	H28/3/23～ 3/31	定期点検で破損が見つかったシリンダーヘッドの緊急修繕
その他修繕	107,460円		誘導灯蓄電池交換、電話機修繕ほか

○ 効果

平成27年度は、10遺跡12件の確認・発掘調査を実施し、出土した資料等を埋蔵文化財センターで整理・調査を進めた。

また、企画展を2回実施し、年間の来館者が5000人を超えるなど、郷土史の学習の場として定着していることが伺える。

郷土史の調査研究・学習施設として適切に維持・修繕できた。

[担当：教育総務課] P. 425

2401 埋蔵文化財調査・整理に要する経費 1,662,525円(1,066,974円)

[その他 1,028,965円 一財 633,560円]

* 特財内訳

[負担金：発掘調査原因者負担金 1,003,865円]

[諸収入：郷土史売却代 25,100円]

○ 目的

取手市埋蔵文化財取扱い要領に基づき土木工事や宅地開発等に伴う埋蔵文化財の確認調査や発掘調査に迅速に対応する。発掘調査によって貴重な埋蔵文化財を記録する。

○ 内容

(1) 市内遺跡確認・緊急調査の概要

確認調査(試掘)や個人住宅の発掘調査を、市が実施した。

遺跡名・事由・面積	期間	内容
下高井城跡 個人住宅・401.21㎡	H28/ 3/15～17	遺構、遺物なし

取手宿跡 個人住宅・108.42 m ²	H28/ 1/28	遺構、遺物なし
宿畑2遺跡 個人住宅・492.91 m ²	11/11, 12	溝1条(時代不明)検出・調査、遺物なし
新屋敷遺跡 個人住宅・388.92 m ²	6/10, 11	遺構、遺物なし
惣代八幡遺跡 住宅建築・400 m ²	5/18, 19	遺構、遺物なし
台道南遺跡(小文間 5529) 個人住宅・400 m ²	4/9, 10	遺構、遺物なし
台道南遺跡(小文間 5548-1) 個人住宅・389.94 m ²	5/25, 26	遺構、遺物なし
台道南遺跡 (小文間 5557-1, -6) 個人住宅・781.44 m ²	5/26, 27, 28	遺構、遺物なし
大渡遺跡 個人住宅・341 m ²	H28/ 2/10, 12, 16, 17	遺構、遺物なし
陳谷原遺跡 店舗新築・672 m ²	H28/ 3/22, 23, 25	遺構、遺物なし
佃遺跡 宅地造成・2,478.21 m ²	5/19, 20	遺構、遺物なし

【主な経費】

- ・市内遺跡確認調査発掘作業委託料 425,234円
- ・機器使用料(バックホウ使用料) 63,720円

(2) 堀尻遺跡発掘調査(事業者(原因者)負担事業)

宅地造成により保存が困難である堀尻遺跡の一部を記録保存するための発掘調査事業。原因者である事業者の経費負担により発掘調査ならびに出土遺物の整理作業を実施した。

・発掘調査・整理作業概要

事 項	概 要
調 査 実 施 区 域	取手市寺田字堀尻 4784 番(1,504 m ²)
調 査 要 因	宅地造成に伴う事前発掘調査
出 土 品 等	縄文時代、土器、石器等コンテナ 13 箱
発 掘 作 業 期 間	H27 年 7 月 28 日～9 月 16 日
整 理 作 業 期 間	H27 年 10 月 13 日～12 月 9 日

・経費(1,003,865円)

経 費 内 訳	支 出 額	内 容
発 掘 調 査	671,567円	
委託料	618,439円	発掘作業員委託料
消耗品費	4,528円	
使用料	48,600円	バックホウ使用料
整 理 作 業	332,298円	
委託料	300,762円	整理作業員委託料
消耗品費	31,536円	収納コンテナ等

○ 効果

平成 27 年度は、10 遺跡 12 件の確認・発掘調査で、縄文時代から近世の街道跡までの遺跡を調査し、縄文土器などの貴重な資料が出土した。これらの調査により、重要な市内遺跡の破壊を防ぎ、貴重な資料を得ることができた。

[担当：教育総務課] P. 425

2501 埋蔵文化財センター活動に要する経費 729,977 円 (723,578 円)

[一財 729,977 円]

○ 目的

文化財保護施設として、貴重な発掘出土品や歴史資料を収納するとともに、その整理・研究成果を市民に紹介するため、企画展示・講演会・講座を開催し、市民の歴史に対する関心や、文化財保護行政に関する理解を深める。

○ 内容

(1) 年間来館者数

年度	平成 27 年度	平成 26 年度	平成 25 年度
来館者数	5,366 人	6,033 人	5,324 人

(2) 展示活動

展示名	期間	入場者数 (1 日平均)	経費	内 容
第 37 回企画展「よみがえる文化財と郷土の歩み」	H27/2/17 ～4/25 開館 55 日 内 4/1 から 17 日	2,592 人 (47.1 人) 4/1 から 631 人 (37.1 人)	報償費、印刷製本費は平成 26 年度予算で対応 (4/1 以降は支出なし)	開館 15 周年記念企画展第 2 弾として新たに県指定文化財となった「東漸寺観音堂・山門」を始め、解体復原工事を実施した市内の指定文化財を紹介した。 指定文化財特別公開 国指定重要文化財「竜禅寺三仏堂」(4/10～12) 見学者 計 356 人
第 38 回企画展「取手の昭和時代 - 取手市誕生までの道のり -」	7/21 ～9/25 開館 59 日	1,165 人 (19.7 人)	講師旅費 920 円 印刷製本費 307,800 円 (ポスター、解説図録)	市制施行 45 周年記念企画展として激動の昭和時代の取手を紹介した。 8/2 講演会「団地生活の始まりとその後、現在」参加者 44 人 講師：青木俊也氏(松戸市立博物館学芸員) 歴史講座(9/15)参加者 75 人 記念映画上映会(市制施行 20 周年・30 周年)(全 5 回)参加者計 47 人
第 39 回企画展「装身具の魅力 - 華麗な出土装身具 -」	H28/2/16 ～4/22 開館 61 日 内 H28/3/31 まで 41 日	2,026 人 (33.2 人) H28/3/31 まで 1,524 人 (37.2 人)	報償費 30,000 円 印刷製本費 307,800 円 (ポスター、解説図録)	市内から出土した考古資料の中で、装身具を紹介し、原始古代の文化や生活を読み解く。 H28/2/21 講演会「鏡と信仰」参加者 88 名 講師：青木豊氏(国学院大学文学部教授) 考古学講座 1 (H28/3/12)参加者 66 人 考古学講座 2 (H28/3/27)参加者 60 人

○ 効果

平成 27 年度の来館者数は 5,366 人と、センターの存在と活動が着実に市民に浸透し

理解されてきたといえる。こうした活動により、市民の歴史への関心が深まり、文化財を大切にすゝる気持ちや文化財保護行政に対する理解を得ることができた。

6 保健体育費 1 保健体育総務費

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 429

1001 スポーツ推進委員に要する経費 1,268,080円 (1,404,520円)

[一財 1,268,080円]

○ 目的

市民の体力づくりと地域スポーツ活動の振興及び生涯スポーツの振興を図る。

○ 内容

市民のスポーツ活動促進のための組織の育成や、各種大会への指導助言と協力に努めた。

スポーツ推進委員報酬 日額 6,300円×延べ 172人=1,083,600円

○ 効果

スポーツ推進委員の活動により、地域スポーツの振興が図られ、多くの市民の健康と体力づくりに寄与した。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 429

2001 スポーツ団体育成推進関係経費 9,265,000円 (9,241,000円)

[一財 9,265,000円]

○ 目的

スポーツ団体を育成・支援することにより、市民全体の体力向上とスポーツの普及振興を図る。

○ 内容

団体名	団体数	会員数	活動内容
体育協会	31部	5,832人	体協親睦会・講演会の開催、視察研修 各種講習会の開催、機関紙の発行、市主催 行事への協力及び参加、競技別大会の企画 運営、指導者の育成
スポーツ少年団	9連盟 35単位団	指導者 318人 団員 1,048人	青少年のスポーツ指導、競技別大会、教室 の企画運営、認定員養成講習会、取手ブ ロック近隣市町村交流会、市主催行事への協 力及び参加、各種講習・研修会への参加

○ 効果

体育協会は、自主事業の充実により市民全体の体力向上とスポーツの普及振興に寄与することができた。また、スポーツ少年団は、青少年のスポーツ指導はもちろんのこと認定員養成講習会や取手ブロック交流会等を継続して実施することにより、スポーツを通して地域における青少年の健全育成を図ることができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 429

2002 社会体育振興関係経費 918,685円 (904,457円)

[一財 918,685円]

○ 目的

市民の健康・体力づくりとスポーツ振興を図る。

○ 内容

生涯スポーツを通じて、心身の健康を保持・増進できるよう、誰もが参加できる各種の大会や体験会を実施した。各種大会等の開催

事業名	参加人数	場所
第20回 小学生ドッジボール大会	140人	取手グリーンスポーツセンター
第12回 市民親善ソフトボール大会	144人	取手緑地運動公園
第24回 ソフトバレーボール大会	249人	取手グリーンスポーツセンター
第16回 グラウンドゴルフ大会	176人	北浦川緑地
第44回 新春健康マラソン大会	2,043人	取手緑地運動公園
第23回 ふれあいウォーキング	87人	取手グリーンスポーツセンター
第10回 市民ペタンク大会	126人	北浦川緑地

○ 効果

各種大会を通じて小学生から高齢者まで幅広くスポーツの楽しさを広めるとともに、市民相互の交流が深められ、参加者の健康増進に寄与することができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 431

2003 スポーツ振興奨励関係経費 2,411,000円 (1,582,000円)

[一財 2,411,000円]

○ 目的

スポーツ大会出場奨励金を交付することにより、市民スポーツの高揚並びに競技意欲の向上を図る。また、選手も上位大会を目指すことができ、ひいては日本代表や国体選手の育成に繋がることを目的とする。

○ 内容

関東大会以上の大会に出場した者に対し、奨励金を支給することにより出場選手の負担の軽減と優秀選手の育成を図った。

年度		関東大会	全国大会	国際大会
H27	団体	4件	13件	0件
	個人	7件	40件	1件
H26	団体	3件	15件	2件
	個人	3件	36件	5件

○ 効果

奨励金制度を活用することにより、選手の育成と市民におけるスポーツ振興及び団体の育成を図ることができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 431

2101 学校施設開放に要する経費 539,272円 (503,467円)

[一財 539,272円]

○ 目的

小中学校の学校体育施設を開放することにより、スポーツ振興と健康増進を図る。

○ 内容

市民が行うスポーツ・レクリエーション、文化的活動を支援するため、学校体育施設

の開放を実施した。

年度	利用団体数	登録人数	開放学校数
H27	252 団体	5,839 人	25 校
H26	241 団体	5,949 人	25 校

○ 効果

市民の健康、体力増進と学校体育施設の有効利用を図ることができた。

6 保健体育費 2 体育施設費

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 431

2001 取手グリーンスポーツセンター管理運営に要する経費 139,537,715 円
(149,348,567 円)

[地方債 10,100,000 円 その他 9,102,999 円 一財 120,334,716 円]

* 特財内訳

[地方債：グリーンスポーツセンター整備事業債 13,500,000×75%≒10,100,000 円]

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 3,400,000 円]

[諸収入：グリーンスポーツセンター利益還元金 5,702,999 円]

○ 目的

市民スポーツの拠点となるグリーンスポーツセンターを多くの方に利用してもらうため、適正な維持管理を行い、市民の健康増進とスポーツ団体相互の交流を深める。

○ 内容

平成 18 年度より、指定管理者による管理を実施している。

指定管理料 123,673,000 円

利用状況

(単位：人)

施設名	H27	H26	増減
室内プール	123,837	115,313	8,524
遊水プール	16,558	15,507	1,051
第一体育室	63,870	65,398	△1,528
第二体育室	11,609	10,203	1,406
トレーニング室	58,803	54,601	4,202
柔道場	15,075	14,118	957
剣道場	9,938	10,563	△625
弓道場	11,748	10,689	1,059
健康相談室	35	53	△18
スポーツ障害相談室	285	332	△47
研修室	13,758	11,881	1,877
会議室	786	892	△106
和室	1,436	769	667
その他	16,086	14,662	1,424
合計	343,824	324,981	18,843

○ 効果

近年は中高年者の利用も増加傾向にあり、市民のスポーツ振興の拠点として、健康増進に寄与することができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 433

2201 藤代スポーツセンター管理運営に要する経費 43,225,395円(36,564,569円)

[その他 7,704,265円 一財 35,521,130円]

* 特財内訳

[使用料：藤代スポーツセンター使用料 6,459,200円]

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 1,200,000円]

[諸収入：コピー使用料 45,065円]

○ 目的

生涯スポーツ・健康づくりの拠点施設として、また憩いの場としての公園施設の維持・管理を行うことで、市民が快適な施設でスポーツを楽しむ場の提供を図る。

○ 内容

施設名	H27	H26	増減
アリーナ	34,971人	30,879人	4,092人
レクリエーション室	4,798人	5,089人	△291人
多目的グラウンド	7,932人	7,822人	110人
野球場	9,083人	9,682人	△599人
テニスコート	10,470人	11,269人	△799人
会議室	1,061人	638人	423人
合計	68,315人	65,379人	2,936人

○ 効果

施設的环境美化保全に努めながら、円滑な管理運営を図ることができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 435

2301 藤代武道場管理運営に要する経費 5,638,427円(5,764,452円)

[その他 2,328,350円 一財 3,310,077円]

* 特財内訳

[使用料：藤代武道場使用料 1,828,350円]

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 500,000円]

○ 目的

生涯スポーツ・健康づくりの拠点として、武道場(柔道場・剣道場・弓道場)の維持・管理を行うことで、市民が快適な施設でスポーツを楽しむ場の提供を図る。

○ 内容

施設名	H27	H26	増減
柔道場	10,632人	9,379人	1,253人
剣道場	10,725人	10,366人	359人
弓道場	977人	617人	360人
師範室	497人	386人	111人
合計	22,831人	20,748人	2,083人

○ 効果

施設的环境美化保全に努めながら、円滑な管理運営を図ることができた。

[担当：スポーツ生涯学習課] P. 435

2401 社会体育施設管理に要する経費 2,415,889 円 (1,892,093 円)

[その他 179,100 円 一財 2,236,789 円]

* 特財内訳

[使用料：高須体育館使用料 179,100 円]

○ 目的

生涯スポーツ・健康づくりの拠点として、施設の維持管理を行うことで、市民が快適な施設でスポーツを楽しむ場の提供を図る。

○ 内容

高須体育館	H27	H26	増 減
利用人数	10,787 人	5,731 人	5,056 人

○ 効果

施設的环境美化保全に努めながら、円滑な管理運営を図ることができた。

6 保健体育費 3 学校給食センター費

[担当：学務給食課] P. 439

2001 給食センター運営に要する経費 137,861,869 円 (137,084,412 円)

[国・県 381,000 円 その他 124,905,377 円 一財 12,575,492 円]

* 特財内訳

[県補：米飯給食普及拡大事業費補助金 381,000 円]

[諸収入：幼稚園給食代 2,576,762 円]

[諸収入：小学校給食代（センター分） 81,847,256 円]

[諸収入：中学校給食代（センター分） 40,481,359 円]

○ 目的

学校給食の安全と円滑な運営を図る。

○ 内容

給食センターを運営するための経費で、給食臨時職員賃金、消耗品、燃料費、賄材料費、手数料（職員保菌検査、食材検査、細菌ふき取り検査）、及び負担金等である。

○ 効果

内容豊かな給食の提供、給食環境の充実で、支障なく運営することができた。

[担当：学務給食課] P. 439

2101 給食センター施設整備に要する経費 60,737,513 円 (32,184,400 円)

[その他 25,700,000 円 一財 35,037,513 円]

* 特財内訳

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 25,700,000 円]

○ 目的

給食センターの施設管理等の充実を図る。

○ 内容

安全な給食を提供するための維持管理経費である。

(1) 需用費 (単位：円)

項目	内容	金額
光熱水費	水道料、電気料、ガス代	7,301,918
修繕料	調理器具等修繕料	2,903,059

(2) 委託料 (単位：円)

項目	内容	金額
給食運搬業務委託料	2台の配送車による各学校への給食運搬業務	12,046,320
電気保安業務委託料	電気設備の安全管理	129,600
受水槽清掃委託料	受水槽の清掃	102,600
真空冷却機点検委託料	真空冷却機の点検	302,400
ガス空調機保守点検委託料	ガス空調機保守点検	496,800
汚水・排水処理施設清掃点検委託料	排水処理施設保守点検・浄化槽油脂の汲取り	2,170,800
ボイラー運転・管理委託料	一級ボイラー技士による運転管理	5,158,080
ボイラー設備総合管理委託料	ボイラーストレージタンク・ボイラー水の中和装置の点検整備・重油タンク清掃・ボイラー排ガス測定	820,800
冷凍・冷蔵設備保守点検委託料	冷凍・冷蔵設備の点検	129,600
高窓・排気ダクト清掃委託料	高窓・燃焼排気ダクトの清掃	183,600
警備委託料	施設警備	172,368
害虫駆除委託料	害虫の駆除	75,600

(3) 工事請負費 (単位：円)

項目	内容	金額
給食センター屋根等改修工事	屋根及び外壁、調理室床等の改修	25,164,000
フェンス改修工事	フェンスの取替	3,164,400

○ 効果

安全な給食を提供するため、施設整備・衛生管理等の充実を図ることができた。